

## EU外相、対トランプ氏でEUとロシアが連携する可能性について語る

(アップデート 2016年12月15日 15:09)

© AFP 2016/ Thierry Charlier <https://goo.gl/dES7Ux>

EUのフェデリカ・モゲリーニ外相はウォールストリートジャーナルのインタビューで、米国次期大統領ドナルド・トランプ氏政権が遂行しようとしている政策に対抗するべく、EUとロシアが一連の国際問題について共通の立場を取る可能性があることを述べた。

「それぞれのケースを個別に分析するなら、ある種の問題でヨーロッパとロシアが同じ側に立つこともあり得る。そうなっても私は驚かないだろう。たとえばイランとの契約、中東問題、そして国連の役割などについてだ」と同氏。

トランプ氏は選挙期間中、イスラム共和国が核兵器を獲得できるようになるとして、イランとの合意を厳しく批判した。トランプ氏の外交政策担当補佐官ワリド・ファレス氏は、トランプ氏はイラン核計画に関する文書の見直しおよび修正を要求している、と述べた。

<http://sptnkne.ws/cY6B>

## アレッポ東部から戦闘員撤退【ライブ中継】

(アップデート 2016年12月15日 17:58)

© Sputnik/ Ali Hassan <https://goo.gl/GyTG92>

シリアにあるロシアの紛争当事者和解センターは、シリア当局と一緒に、現地に残っている戦闘員とその家族の東アレッポからの撤退準備を進めている。ロシアのプーチン大統領が、これに関する任務を軍人に与えた。シリア当局は、町から立ち去ることを望むすべての人に安全を保障している。

センターの発表では、「和解センターへのウラジーミル・プーチン大統領の依頼に従い、シリア当局と協力して、残っている戦闘員とその家族のアレッポ東部地区からの撤退準備が進められている」と述べられている。

撤退のためにバス20台と救急車10台が提供される。降伏を望むすべての人が、特別回廊でイドリブ市方面へ送られる。

動画 <https://youtu.be/OHRngG5yd8A>

<https://goo.gl/D1qZS3>

## ウィキリークス、クリントン氏メールの情報漏洩者について明かす

(アップデート 2016年12月15日 18:21)

© AFP 2016/ Karen Bleier <https://goo.gl/33tdtx>

ヒラリー・クリントン元国務長官の電子メールの情報漏洩者は米民主党内の人物。英国の元外交官で現在ウィキリークスのために協力しているクレイグ・ミューレイ氏が明らかにした。

ミューレイ氏は英タブロイド紙の「デイリーメール」からのインタビューに「(漏洩は)ロシアから行なわれたものではない。情報漏洩者は情報への合法的なアクセス権を持っていた人物だ。(暴露された)文書はインサイダー情報漏洩の結果得られたもので、ハッカー攻撃によるものではない」と語っている。

ミューレイ氏は資料を求めて自らワシントンに赴いたことを明らかにしており、それによると文書の受け渡しはアメリカン大学付近の森の中で行われた。

情報漏洩者がこうした行為に出た動機について、ミューレイ氏は、この人物がクリントン基金の活動にまつわる収賄に断固として反対し、民主党の候補者争いでクリントン氏の主たるライバルであるバーニー・サンダース氏にとって選挙キャンペーンの不利な条件を生み出そうとして行なったことと説明している。

先に米大統領選挙キャンペーン中に行われたハッカー攻撃について、米国政権はロシアの仕業と非難したものの、実際はオバマ政権と米特務機関が行った可能性があることが報じられた。

<http://sptnkne.ws/cYBu>

## 欧州委員会委員長、シリアを理由にロシアに対する制裁に反対

(アップデート 2016年12月15日 19:02)

© AFP 2016/ Emmanuel Dunand <https://goo.gl/hvpHSU>

欧州委員会委員長ジャン＝クロード・ユンケル氏は、シリア情勢のため、ロシアに対する追加制裁は紛争解決にはつながらない、と述べた。「ロシアに対する追加制裁でシリア問題が解決されると考えている人は余りにも素朴すぎる」。ZDFテレビのインタビューで語った。先にEUのモゲリーニ外相は、月曜のEU外相会議では、EUのいずれの加盟国もロシアに対する制裁の導入の可能性を見直すことを呼びかけなかった、と述べた。

<http://sptnkne.ws/cYDf>

## 露連邦保安庁、モスクワでダーイシュによる一連のテロを阻止【動画】

(アップデート 2016年12月15日 20:25)

◎ 写真: Russian FSB <https://goo.gl/hQnUQ2>

ロシア連邦保安庁が、トルコにいるダーイシュ（イスラム国、I S）のメンバーの指示を受けてモスクワで準備されていた一連のテロを阻止した。同庁が15日明らかにした。

動画有り <http://sptnkne.ws/cYFx>

「高威力の手製爆弾を用いてモスクワで一連のテロ行為を計画していたタジキスタン市民とモルドバ市民からなる破壊的テログループによる活動が阻止された」と同庁は発表した。特殊部隊によると、戦闘員は、トルコにいる、当局により国際指名手配中のタジキスタン人のダーイシュのメンバーから直接指示されてテロ攻撃を準備していた。

<http://sptnkne.ws/cYFx>

## プーチン・安倍両首脳 長門の夜空を背景に率直な意見交換

(アップデート 2016年12月15日 21:39 リュドミラ・サーキャン)

◎ 写真: Katsumi Mochiyoshi1/2 <https://goo.gl/QkdX4x>

15日、山口県にある人口3万5千人余りの小都市長門が、世界のマスコミの注目の的となった。ここでは、プーチン大統領と安倍首相による露日最高首脳会談の第一ラウンドが行われる。会談場所として選ばれたのは、高級老舗旅館大谷山荘で、プーチン大統領一行はここに泊る。大統領と側近が過ごすのは、この旅館の別邸「音信（おとずれ）」の3階で、その広さは139平方メートル、客室と寝室、露天風呂付きテラスがある。

ホテルのマネージャー、古谷 桂一郎（ふるたに けいいちろう）さんによれば、この旅館には皇族や政治家、有名人が何度も訪れているとのことだ。大谷山荘が建てられたのは1881年のことで、1960年に大修理がなされ建て替えられた。旅館のある湯本温泉は、600年もの歴史を持つ。仏教の僧達が「湯あみ」をしたのが、その始まりと言われている。

15日夕方、大谷山荘のレストランのテーブルには、ロシアからの賓客のために、地元の高級食材を使った「懐石料理」の品々が並べられる。夕食はまず、食前酒で始まり、季節のオードブル、刺身、和牛のグリル、地元名産フグの刺身や揚げ物が出される。ご飯も、地元産の「コシヒカリ」である。夕食後、両首脳は、日本庭園に面した露天風呂で歓談を続ける予定だ。その後二人は、望遠鏡が置かれた展望台に向かう。そこで両首脳は、特設バーで用意されたカクテルを飲み夜空を眺めながら「領土問題」について率直な意見交換をすることになっている。

翌 16 日朝、プーチン大統領は空路東京に向かい、首相官邸でワーキングランチのフォーマットで会談を続ける。そこには実業界の代表者達も招待されている。その後、今もまだその一部について専門家達が準備を続けている文書の数々に調印がなされ、共同記者会見が開かれる。

また会見後、プーチン大統領と安倍首相は、露日ビジネス・フォーラムの総会に出席する。そしてこのあと、大統領は講道館を訪問し、森元首相など多くの著名人と会う予定だ。以上で、プーチン大統領の今回の日本公式訪問のプログラムが終了する。

<http://sptnkne.ws/cYJJ>

### シリア的捏造：誰が、いかに、何のためにシリア紛争について偽情報を流しているのか？

(アップデート 2016 年 12 月 15 日 22:41)

© Sputnik/ Mikhail Voskresenskiy <https://goo.gl/iBg0se>

インターネットの発達とともに、実際の情報とウソとの区別が、より難しくなってしまった。スマートフォンは、誰が何のために、シリアに関する偽情報を流しているのかを明らかにするため、複数の専門家に話を聞いた。

中東の安全保障問題の専門家でメディア分析を得意とするダニー・マッキー氏は、欧米マスコミによるシリア紛争の報道に対する自らの見解を示し、次のように指摘した—

「大量処刑や民間人への攻撃といった西側マスメディアが伝える情報のすべては、1 枚の写真あるいはビデオによってさえ確認されていない。プロパガンダ戦争が続いている。常にアレッポでは、それが特に激しかった。しかしシリア軍がこの町で勝利した事は、欧米マスメディアの主張の基盤を足元から崩し、彼らが作り出した民主主義リベラル勢力としてのシリアの穏健派在野勢力のイメージを木っ端みじんに吹き飛ばした。アレッポにおけるシリア政府軍に対する情報キャンペーンの枠内で、一部のマスコミそしてソーシャルネットワークの人気ページなどは、パレスチナ・ガザ地区の写真や、2014 年 2015 年といった過去の写真を使い、それらを『平和に暮らす一般市民を迫害するアサド体制の獣のように残酷な軍隊』の行動ぶりを裏付けるアクトチュアルな証拠として発表した。」

なお解放されたアレッポの実際の状況について、従軍記者のカメル・サカー氏は、次のようにレポートしている—

「私は、人々をテント村に移動させるための、よく組織された作業を目にした。必要不可欠なあらゆるもの、輸送手段、食料、薬品、負傷者に対する医療援助、それらはすべて提供されている。多くの住民は、戦闘員が組織した食料の独占について証言した。それによって最も必要な物の値段が 20 倍にも高騰したという。こうした事は、アレッポの状況に関する国連や人権団体すべての報告書が嘘であることを意味している。国際的な人道組織は、アレッポの住民を全

く助けていない。助けているのはシリア政府でありシリア軍であり、ロシアの軍人達だ。私自身、町に人道援助物資を運び込み、それを人々に分ける彼らのトラックを目にした。」

<http://sptnkne.ws/cYHy>

## 温泉で続きも？ 首脳会談、気になる初日の成果：しかし期待値の上げすぎは禁物

(アップデート 2016年12月15日 22:10 徳山あすか)

◎ REUTERS/ Toru Hanai <https://goo.gl/15QL6y>

ロシアのプーチン大統領は明日まで日本に滞在する。初日の今日は山口県長門市の旅館で首脳会談が行われ、両首脳は安全保障問題に関する対話及び防衛協力の継続で一致した。明日16日には東京へ移動し、首相官邸にて再び首脳会談の後、記者会見が予定されている。その後は経済団体の会合へ出席したり、柔道の聖地「講道館」を訪問するなど過密スケジュールである。プーチン大統領の到着が予定より約二時間半遅れたため、安倍晋三首相は空き時間を利用して急遽、父である晋太郎元外相の墓参りをした。墓前で、日露外交の前進を誓ったに違いない。

スプートニクは、長期にわたって日露関係改善の重要性を訴えている、一水会の木村三浩代表に話を伺った。プーチン大統領来日直前のこの数ヶ月は、木村氏のスケジュールもタイトだった。11月は毎週日曜日に東京中心部の街頭に立ち、ロシアとの関係改善を訴える演説を行った。中には物珍しく見る人もいたが、「その通りだ。頑張ってください」と声をかけてくれる人もいた。テレビ出演、雑誌での対談、講演、デモ行進などに加え、自ら東京と岡山で日露平和条約締結促進国民大会を主催し、東京大会では一般参加者が100名以上集まる盛況ぶりだった。大会ではロシアへの敬意を表し、日露両国の国歌を演奏。参加者からは「感動した」との声が上がった。木村氏の主張は一貫している。「クリミア併合を承認し、ロシアへの経済制裁をやめるべき。領土交渉を前進させ、ロシアと平和条約を締結することは日本の国益にかなう」ということだ。

◎ 写真：一水会国民大会で講演する木村三浩氏 <https://goo.gl/a31j0o>

今回の訪日スケジュールについて木村氏は、「安倍首相の地元でもてなすというアイデアは、気持ちが入っており、良かったと思います。明日のプーチン大統領の東京訪問には米国が難色を示していましたが、安倍首相の意思で東京訪問が実現したということが重要です。日本は米国から自立し、自主的な外交をするべきなのです。過密スケジュールですから仕方ありませんが、大統領が一般人と触れ合う機会がないのは残念です。普段ロシア大使館でやっているように、ロシアとの交流に寄与している民間人との時間を持てれば、ロシアが身近になり、『開かれたロシア』のイメージを作ることができたでしょう。また、明治天皇を祭神とする明治神宮を訪れて頂きたかった。そうすれば、日露和解のシンボルになったのではないのでしょうか」と話す。

木村氏は12月11日に都内でデモ行進を行った際、「四島を追う者は二島をも得ず・日露平和条約の締結促進と領土交渉の前進を」というキャッチフレーズを掲げた。木村氏は、「日露間に平和

条約が締結されることが私の夢。2018年の大統領選でプーチン氏が再選し、2019年に平和条約が締結され、2020年に歯舞・色丹が返還されれば理想的。日本はそのために環境整備を進めなければ」と述べている。

◎ 写真：プーチン来日歓迎の意を表する木村氏（右） <https://goo.gl/3ApG1I>

また、木村氏はロシア本土での日露経済協力はどんどん発展させるべきだと話し、係争地域での共同経済活動にも賛成の立場だ。「北方領土に関しては、経済特区を新設することができれば、日本企業もやりやすいのでは。簡単なことではありませんが、主権というよりも管轄権の問題を日露でよく協議して、第三の道を模索してほしい」と期待を見せる。

これまで日露関係が、これほど熱意をもって日本メディアで取り上げられることはなかった。木村氏は「メディア報道の過熱で、首脳会談に対する期待値が上がりすぎているのではないかと懸念を見せる。もし思うような結果が出なければ、再びロシアに対する国民の不信感や、安倍首相に対する失望が生まれてしまうかもしれない。木村氏は「期待値を上げすぎず、粛々と見守るべき」と話す。プーチン大統領の到着が大幅に遅れたことについて、これもロシアの戦術ではないかと勘繰る向きもあるが、木村氏は「そういうことは言うべきではありません。遅刻は注目する部分ではありませんし、よくあることです。何よりも肝心なのは首脳会談の中身です」と冷静に見守る。

<http://sptnkne.ws/cYKF>

## シリア・アレッポ住民「町の解放により生活を取り戻せた」

(アップデート 2016年12月15日 23:10)

◎ Sputnik/ Ali Hassan 1/3 <https://goo.gl/QdRVJv>

シリア北部の主要都市アレッポでは、テロリストらからの町の解放が祝われている。スプートニク記者は、市民の何人かにインタビューした。

アレッポの住民達は、シリアのすべての町で将来、アレッポの解放が祝われるよう望んでいる。弁護士のアフワン・アルキルジさんはスプートニク記者に、次のように語った—

「アレッポの解放は、我々にとって日常の普通の生活が戻ってくることを意味します。人々は自分の家族と一緒に、安全で安定した暮らしができるでしょう。」 ファティマ・ダユブさん(女性)は、アレッポの解放は新生活の始りのシンボルになったとする一方で、だからと言ってテロの犠牲者を忘れる理由にはならないと指摘し、次のように続けた—「私達のために、未来の世代のために、そしてわが祖国の独立のために自ら犠牲となった大学生達のことを、解放記念日には思い出したい。」

また、ヒサム・タヤルさんは、ホムスの町がテロリストから解放された時、何百人もの若者がや

って来て、町の復興を助けたことに注意を促した。

先に伝えられたところでは、アレッポの解放は、米国にとって打撃となった、とのことだ。

<http://sptnkne.ws/cZd9>

### **戦闘員、アレッポ全区から叩き出される**

(アップデート 2016年12月16日 11:02)

◎ AFP 2016/ George Ourfalian <https://goo.gl/GYoyrj>

政府軍と民兵組織はテロリストからの東アレッポ解放を完了しつつある。ロシア軍総司令部即応部の第1副主任ビクトル・ポズニhil中将が発表した。

中将によると、シリア軍は戦闘員が手中に収めていた全街区から戦闘員を叩き出し、105の街区が完全に解放された。これは、総面積にすると、78.5平方キロメートル。戦闘の際、軍は900以上のテロリストを排除し、数十の重火器や兵器を殲滅した。その上で中将は、ロシア空軍は10月18日からアレッポ地域では用いられていないと強調した。

<http://sptnkne.ws/cYQ6>

### **プーチン大統領は、日本との軍ライン並びに2+2形式でのコンタクト再開を提案—ラヴロフ外相**

(アップデート 2016年12月16日 11:10)

◎ Sputnik/ <https://goo.gl/wcBM96>

ロシアのプーチン大統領は、日本の安倍首相に、軍ラインと「2+2」形式でのコンタクトの再開を提案した。ロシアのラヴロフ外相は、プーチン大統領と安倍首相の会談を総括し、記者団に次のように語った—

「今日、近年凍結されていた我々の2国間対話の別のメカニズムも再開する必要があることで合意された。それは軍ラインや外相ならびに国防相による『2+2』などだ。」

ラヴロフ外相は、この形式で会談が数回行われたがその後中断されたと指摘し、「今日プーチン大統領は、それを参謀本部の責任者ラインでの会談と同じように再開することを提案した。首相は、そのような決定がある時期に承認されることに期待すると肯定的に反応された」と述べた。

<http://sptnkne.ws/cZdF>

## 米メディア、日本がロシアとの平和条約を求める理由を語る

(アップデート 2016年12月16日 07:10)

© Sputnik/ Sergey Guneev <https://goo.gl/u1chSF>

ロシアとの平和条約締結が、日本にとって現在ほど大きな戦略的意義を持つことはなかった。米誌『ナショナル・インタレスト』のコラムニスト Tomohiko Taniguchi 氏と Daniel Bob 氏がそのような見解を示した。

日本がロシアとの妥協案達成を急ぐのは、戦略的演習の場を拡大するためだと記事では指摘されている。現代史において日本が、強大な国としての熊（ロシア）と龍（中国）に挟まれたことはこれまで一度もなかった。ロシアも中国も核大国であり、ロシアは軍事力を再建し、中国は海上での自らの支配的な地位を固定しようとしている。同時に、もう1つの核大国、北朝鮮はミサイル実験によって地域情勢を悪化させている。

「地域的文脈が不安定であるため、日本にとって、ロシアとの平和条約締結は戦略的重要性が増した問題となっている」と2人のアナリストは結論付ける。

<http://sptnkne.ws/cZbX>

## ケリー国務長官「シリア人への政治的プロセスによる停戦遵守が重要」

(アップデート 2016年12月16日 07:32)

© AFP 2016/ Molly Riley 1/2 <https://goo.gl/keq8ov>

米国のジョン・ケリー国務長官は、戦闘員の間での政治的プロセスが停戦を遵守することが重要だとの見解を示し、「すべての当事者が前に進み停戦を遵守するよう彼らへの圧力を強めるように国際社会に呼びかける」と述べた。

ロシアの紛争当事者和解センターの情報によると、現在、またもや戦闘員とその家族を乗せたバスが東アレッポからエル・ラシジン・4地区の方向に進んだ。ロシアの紛争当事者和解センターの将校と国際赤十字社の代表者たちがすべてのバスを随行している。

ロシアの紛争当事者和解センターの情報によると、シリアの停戦プロセスに加わった居住地の数はこの1日で1057個にまで増えた。

先に伝えられたところによると、シリアでの武力紛争は2012年から続いている。政府軍は、様々な武装勢力に属する戦闘員一味と対立している。同国での紛争の間、国連のデータによると、22万人以上が死亡した。



シリアでは2月27日、露米の仲介のもと、反政府勢力と政府軍が同意し、停戦が発効した。停戦は国連安保理にテロリストと承認されたグループには効力が及んでいない。

<http://sptnkne.ws/cZc2>

### **露国防省、ロシア弾道ミサイルの装填の様子を公開【動画】**

(アップデート 2016年12月16日 09:12)

◎ Sputnik/ Vladimir Astapkovich <https://goo.gl/m70kKt>

ロシア国防省は、大陸間弾道ミサイルRS-24「ヤルス」を発射装置に装填する様子を映した動画を公開した。

**動画** <https://goo.gl/1fGIEm>

オペレーションはコゼリスクの第28親衛ロケット師団によって行われ、数時間に及んだ。動画には、50トンのミサイルが巨大なトレーラーによって発射装置のところに運ばれ、ミサイルサイロに降ろされるところが見て取れる。

先に国防省はユーチューブの自らのチャンネルで、戦闘機スホイ33が空母「アドミラル・クズネツォフ」のデッキから飛び立つ様子を映した動画を公開した。

<http://sptnkne.ws/cZdS>

### **露日会談初日：パイプライン「サハリンー北海道」建設プロジェクトへの相互的関心**

(アップデート 2016年12月16日 10:50)

◎ REUTERS/ Toru Hanai <https://goo.gl/f9BpLU>

露日首脳会談初日の結果の1つになったのは、ガスパイプライン「サハリンー北海道」建設と2国間経済関係発展に対する相互的関心があることが確認されたことだ。15日行われた会談にはロシアのアレクサンドル・ガルシカ極東発展相が出席した。

パイプライン計画ではパイプラインの地表部分をサハリンから北海道の稚内港まで敷設し、その後東京湾まで延長する方向。極東発展省の発表でもまた、プーチン大統領がロシア・アムール州にあるアムールガス精製工場建設に参加するよう日本の投資家たちに提案したとある。

さらに安倍首相は、ウラジオストクでの都市環境整備に対する日本側の関心を確認した。先に、8項目の2国間経済協力プランの項目の1つは、居心地がいい活発な人生を保障する、快適でクリ

ーな環境開発を目的とした都市開発だと報じられた。

プレスサービスによると、双方ともハバロフスク国際空港整備に日本企業が参加することを歓迎した。また、沿海地方で日本企業「飯田グループホールディングス」による木材加工と木造建築発展分野におけるプロジェクトの実現化が支持される。

ロシア側の提案により、日本の投資家は伐採木材の加工プロジェクトと加工度への予定投資額を増やした」と発表には書かれている。

先進発展特区における温室施設建設に関する露日合同プロジェクトの今後の発展が維持された。現在、極東発展省はアムール州にある先進発展特区「スヴァボードネンスカヤ」設立問題を検討している。同特区ではプロジェクトの投資家たちに大幅な優遇措置と免除が与えられる。

プーチン大統領は会談で、1967年から2010年にかけて存在して、うまく機能していた露日の地域首脳会談のフォーマットで作業を再開するよう提案した。

安倍首相は一方、2017年9月6日、7日にウラジオストクで開催される第3回東方経済フォーラム出席の希望を確認した。

<http://sptnkne.ws/cZdX>

## 日本企業、一連のプロジェクトへの投資に意欲

(アップデート 016年12月16日 14:27)

◎ Sputnik/ Alexei Druzhinin <https://goo.gl/xCm5tB>

露日投資基金の設立でロシアに100億ドルが融資される。ロシア直接投資基金のキリル・ドミートリエフ総裁が記者らに述べた。先に同総裁は、同基金と国際協力銀行（J B I C）が10億ドル規模の露日投資基金を創設する、と述べていた。

「我々はいま20余りのプロジェクトを討議している。うちの最初のもはこの半年のうちに実現する予定だ。」

その内のひとつと目されているのがロシアの港湾への投資だ。露日基金の創設によりJ B I Cは初めて株式への投資ができるようになるという。露日首脳会談初日の結果の1つになったのは、ガスパイプライン「サハリンー北海道」建設と2国間経済関係発展に対する相互的関心があることが確認されたことだ。

<http://sptnkne.ws/cZhQ>

## 露日、原子力エネルギー平和利用協力につき覚書に調印

(アップデート 2016年12月16日 16:10)

写真 <https://goo.gl/N6hd3S>

ロスアトム、日本経済産業省、同文部科学省の代表が、プーチン大統領と安倍首相の立ち合いのもと調印した。協力の主要な方面の一つは福島第一原発事故処理という。また露日原子力エネルギー平和利用協力の枠内での露日プラットフォーム設立、専門家交流や先端的原子力技術の相互利用も検討されている。

<http://sptnkne.ws/cZgA>

## アレッポ東部から一昼夜で 6,400 人が流出

(アップデート 2016年12月16日 16:23)

◎ REUTERS/ Omar Sanadiki 1/2 <https://goo.gl/BEYu2P>

アレッポ東部からの戦闘員引き上げ作戦で一昼夜の間に戦闘員 3,000 人含む 6,462 人が引き上げられた。9つの車列にロシア紛争当事者和解センターや国際赤十字委員会の車両・救急車が併走した。挑発行動を防止するためにロシア紛争当事者和解センターが常時車列を管理し、戦闘員の乗降を無人機とウェブカメラが監視している。

既に報じられているように、アレッポの解放は米国への打撃となった。

<http://sptnkne.ws/cZjk>

## 露日、資源採掘分野で合意に調印

(アップデート 2016年12月16日 16:25)

◎ Sputnik/ Mikhail Fomichev <https://goo.gl/3zkDb6>

ロスネフチは石油天然ガス・金属鉱物資源機構（JOGMEC）を含む日本企業と合意を結んだ。プーチン大統領の訪日に合わせロスネフチ、丸紅、国際石油開発帝石、石油天然ガス・金属鉱物資源機構（JOGMEC）がロシアの大陸棚の特定区域における化石燃料の共同調査・採掘について合意を結んだ。

<http://sptnkne.ws/cZjr>

## 露日協力の大規模深化

(アップデート 2016年12月16日 17:03)

© AP Photo/ Alexander Zemlianichenko <https://goo.gl/akryPi>

プーチン大統領訪日に合わせ露日企業が68の文書の調印を行った。ガスプロムは三井、三菱、J B I C・国際協力銀行と戦略的協力に関する合意を結んだ。「ヤマルLNG」はJ B I Cとの相互理解覚書を交わし、融資に関する合意を結んだ。

ロスネフチは極東ガス化学工場の建設プロジェクトの技術・経済的基盤に関する日本との協力について合意に調印した。またロシアの大陸棚における化石燃料の調査と採掘について日本企業と合意を結んだ。「ロシア郵便」と日本郵便が経験交換と協力拡大について合意した。また露日は原子力エネルギー平和利用協力についても覚書を交わしている。

<http://sptnkne.ws/cZjy>

## プーチン大統領、パルミラで進行中の事態の原因を指摘

(アップデート 2016年12月16日 17:27)

© AP Photo/ Ron Van Oers <https://goo.gl/CEk0iq>

ロシア大統領はテロリストとの戦いで力を合わせることの必要性を訴えた。「パルミラで進行中の事態はいわゆる国際有志連合、シリア当局とロシアの間の非協調的行動の結果である」。プーチン大統領が安倍首相との会談後の記者会見で語った。プーチン氏によると、「私は、テロとの闘いを効果的に遂行するためには力を合わせる必要があると何度も言ってきた」。また露日は原子力エネルギー平和利用協力についても覚書を交わしている。

<http://sptnkne.ws/cZ9Q>

## プーチン大統領と安倍首相が長門で合意した10項目

(アップデート 2016年12月16日 21:15)

© Fotolia/ Rawpixel.com 1/2 <https://goo.gl/vlriq1>

長門でのプーチン大統領と安倍首相の会談が終了した。両首脳はワーキングディナー形式で2国関係の焦眉の問題を議論した。ワーキングディナーには、ロシアのガルシカ極東発展相も出席した。ロシア極東における2国間協力の発展に関する問題は、露日の両首脳から提起された。首脳らは、重要なプロジェクトやマクロ地域での共同活動の優先分野について確認した。

1つ目。安倍首相は、ウラジオストクの都市環境開発への日本側の関心を確認した。露日の経済関係発展に関する8項目には、都市開発が一つの方向性として含まれている。安倍首相は第2回東方経済フォーラムで、「快適・清潔で、住みやすく、活動しやすい都市づくり」について、「これを両国で実施するためのモデル都市として、ウラジオストクくらい、ふさわしい街はないと思う」と述べた。

2つ目。両首脳は、ハバロフスク国際空港開発への日本企業の参加を歓迎した。先にロシア政府は日本の投資家らの要望に従い、投資回収率における投資家たちのニーズを考慮した長期的な空港サービス料の設定を可能とする政令を承認した。

3つ目。沿海地方での日本企業「飯田グループホールディングス」の木材加工と木造住宅発展分野におけるプロジェクトの実現が支持された。ロシア側の提案により、日本の投資家はプロジェクトへの投資予定額を増やし、伐採木材の加工レベルを上げた。

4つ目。先行発展領域（TOR）での温室複合体の構築に関する露日共同プロジェクトのさらなる発展が支持された。これはまずTOR「ハバロフスク」での「JGCエバークリーン」と、TOR「カンガラッシ」での「サユリ」による温室建設第2期工事に関するもの。

5つ目。プーチン大統領は、日本の投資家にアムールガス処理プラント建設への参加を提案した。現在ロシア極東開発省は、プロジェクトの投資家に大きな特典や優先権を与えるTOR「スヴォボドネンスカヤ」創設の件を検討している。

6つ目。プーチン大統領は、サハリンにおける石油・ガス採掘に関する共同プロジェクトのさらなる発展の重要性を指摘した。

7つ目。両首脳は、極東の保健衛生の発展のために共に尽力することで合意した。会談では、ウラジオストク自由港に医療クラスターを形成することや、マクロ領域に日本の医療機関を開設する可能性が議論された。

8つ目。両首脳は、ガスパイプライン「サハリン-北海道」の建設プロジェクトへの相互の関心を確認し、経済主体のレベルで同プロジェクトの詳細な検討を活発化することで合意した。

9つ目。プーチン大統領は、1967年から2010年まで存在し、成功裏に活動していたロシアと日本の地域トップによる協議会形式での作業再開を提案した。

10個目。安倍首相は、9月6、7日両日にウラジオストクで開かれる第3回東方経済フォーラムへの出席を望んでいることを確認した。

<http://sptnkne.ws/cZmc>

## プーチン大統領「露日平和条約の作業加速は可能」

(アップデート 2016年12月16日 18:34)

© AFP 2016/ Alexander Zemlianichenko <https://goo.gl/8bs8b6>

16日東京で、プーチン大統領は、安倍首相との会談を総括した記者会見の中で、クリルでのロシアと日本の協力が、平和条約締結交渉継続の好ましい雰囲気づくりを促すとの考えを示した。大統領によれば、露日間に平和条約が存在しないことは、言うまでもなく過去の時代錯誤である。プーチン大統領は、次のように述べた—

「この問題解決のために求められているのは、相互信頼そして露日関係の総合的全体の全面的な発展強化に向けた骨の折れる作業だ。そうしたコンテキストの中で、安倍首相と共に、南クリルにおける共同経済活動確立のイニシアチブを支持した。こうした協力が、平和条約締結交渉継続のための好ましい雰囲気づくりを促すものと我々は期待している。」

先に露日が原子力エネルギー協力に関する覚書を締結したことが報じられた。

<http://sptnkne.ws/cZna>

## CNN支局長 サイバー攻撃に対し制裁とモスクワの「ブラックアウト」で応えるよう提案

(アップデート 2016年12月16日 20:45)

© AP Photo/ Ric Feld, File <https://goo.gl/Gaj0s5>

CNNのジム・シュッテ支局長は「ロシアの『サイバー攻撃』に対し米政府には、それに応える多くの可能性がある。政府は最も効果的なものを模索するだろう」と述べた。支局長によれば、いくつかのバリエーションはすでに試されたが、成果を得られなかったとのことだ。ホワイトハウスは、ロシア政府の行動に対し公に批判を試みた時から、それを始めていた。

そして次に効果的なバリエーションと言えるのは、おそらく経済制裁である。サイバー空間での報復に関していえば、CNNのシュッテ支局長は「米国には、プーチン大統領に関する『不愉快』な情報を拡散することから始まって、モスクワの『ブラックアウト』まで含めたロシアの最も重要なインフラシステムへの攻撃まで、はるかに多くのことができる」と指摘している。

なお先に米国の諜報諸機関は、米大統領選挙に影響を及ぼそうと試みたとしてロシアを非難した。一方、ロシア指導部は、そうした主張を根も葉もないものとして斥けている。

<http://sptnkne.ws/cZss>

## プーチン大統領 自由貿易圏創設の可能性について語る

(アップデート 2016年12月16日 23:07)

© Sputnik/ Sergey Guneev <https://goo.gl/QVGB28>

ロシアのプーチン大統領は、近いうちにも日本とユーラシア経済連合間に自由貿易圏を創設する可能性が議論されると発表した。プーチン大統領は、「露日ビジネス対話」でスピーチし、「なお近いうちにも、ユーラシア経済連合と日本間の新たな自由貿易圏形成の件が専門家レベルで議論される計画だ」と述べた。

先に伝えられたところによると、プーチン大統領の訪日にあわせ、ロシアと日本の企業が68件の文書に調印した。

<http://sptnkne.ws/cZur>

## 共同経済活動に向け専門家が特別制度を協議へ、安倍首相発言

(アップデート 2016年12月17日 00:31)

© Sputnik/ Michael Klimentyev <https://goo.gl/3Ywtlx>

安倍首相はNHK番組で、北方領土での「共同経済活動」に関し「ロシア法でもなく、日本法でもない特別な制度についてこれから専門家が協議を行っていくことになる」と述べた。共同通信が報じた。

先に伝えられたところによると、プーチン大統領と安倍首相はクリル諸島（千島列島）での共同経済活動開始についての声明文で合意した。

<http://sptnkne.ws/cZxP>

## 緊密さは取り戻したが、共同経済活動には日本の譲歩が不可避か：日露首脳会談、識者の評価

(アップデート 2016年12月17日 00:33 徳山あすか)

© Sputnik/ Sergey Guneev <https://goo.gl/1faEIV>

ロシアのプーチン大統領は15日・16日の日露首脳会談を終え、帰路についた。ロシア大統領の来日は、2010年に横浜で行われたアジア太平洋経済協力会議（APEC）に参加したメドベージェフ氏以来6年ぶりだった。安倍晋三首相は、プーチン大統領と長門市で5時間かけて会談したことを明かし、突っ込んだ議論ができたことを強調した。

スプートニクは、ロシア政治に詳しい上智大学の上野俊彦教授に話を伺った。上野教授は首脳会談の結果について、「以前の緊密さ、つまり日露関係を2013年のレベルに戻すことが目的だったのならば成功だったと言えますが、平和条約締結交渉という点から言えば、具体的な前進はなかったと言えます」と述べている。

上野教授によると、「1956年の『日ソ共同宣言』から現代までの歴史を振り返ってみると、最も日露関係が良好だったのは、2013年4月から2014年2月のソチ五輪にかけて」だった。2013年4月には安倍首相がロシアを訪問し、プーチン大統領とともに「日露パートナーシップの発展に関する共同声明」を発表。同年の11月には日露2プラス2（日露外務・防衛閣僚協議）が東京で開かれている。また安倍首相は、G7の首脳として唯一、ソチ五輪の開会式に参加した。しかし、ウクライナ政変が勃発。ソチ五輪の直後にクリミアを併合したロシアは日本を含む西側諸国の経済制裁の対象となり、日露関係は極めて難しい状況に陥った。

上野教授は、「日露関係がこれまで順調に発展してきたのであれば、平和条約交渉での更なる進展も考えられますが、私の意見ではそれは今回の目的ではありませんでした。今回はまず失われた緊密さを取り戻すことが大事だったと思います。良好な関係を取り戻すという意味では成功でした」と話す。日露首脳会談の前には常に、日本メディアを中心に、領土問題で前進があるのではないかという期待がされるが、今回の会談でそれを期待するのは時期尚早だったということだ。自民党の二階俊博幹事長は、領土の帰属をめぐる問題で進展がなかったことに対して「国民の大半ががっかりしている」と発言したが、これも上がりすぎた期待値の弊害だろう。

首脳会談の中で注目を集めたのは、択捉島、国後島、色丹島および歯舞群島における日露の共同経済活動の可能性についてである。安倍首相は記者会見で「共同経済活動を行うための特別な制度について、交渉を開始することで合意した」と述べた。安倍首相が言うところの特別な制度とは、どういうものなのか。プレス文書には、「平和条約問題に関する日本およびロシアの立場を害するものではない」とあるが、果たしてそのような枠組みを作ることは可能なのか。

歴史を振り返れば、日露間で最初に、係争諸島における共同経済活動について文書で示されたのは1998年11月だった。小渕恵三首相とエリツィン大統領の『モスクワ宣言』により、共同経済活動方法を協議する委員会が設置されることになったのだ。しかし日本側はロシア法の下で経済活動を行えば、ロシアの主権を認めてしまうと考え、首を縦に振らなかった。こうして、このテーマは18年間進展することはなかった。上野教授は、共同経済活動と平和条約交渉の関連性について次のように述べている。

**上野教授：**「今回、共同経済活動の協議開始で合意したことは一歩前進だと言えるかもしれませんが、特別な枠組みを作るのは大変難しい作業で、これから様々な問題が出てくると予想されます。例えば合弁で工場を建てたとして、得た利益に対する税金はどうするのか等、細かい調整事項が多数出てくると思います。これから相当、日本側が譲歩しなければならない部分が出てくるのではないのでしょうか。両首脳の話で一致している部分は、まず北方領土で共同経済活動を行い、その先の話として平和条約を締結するということです。共同経済活動自体、日本側からすると相当ハードルが高いテーマです。しかし共同経済活動の先に平和条約締結交渉というテーマを置いてしまった以



上、安倍首相としては、とにかくこれを何らかの形でやらなければなりません。安倍首相は『私たちの世代で解決したい』と発言しましたが、平和条約締結までたどり着くことは、そう簡単ではないと改めて感じました。』

とはいえ、安倍首相の強力なイニシアチブと政治決断で、共同経済活動を開始するための問題をスピーディーに処理する可能性もなくはない。上野教授は、その鍵になるのは「経済産業省や外務省といった実務当局がどの程度問題をクリアしていけるか」だと見ている。今後どのように共同経済活動の議論が進んでいくのか、本当に実現できるのか、注視していかなければならない。

ロシア本土での日露経済協力に関しては、安倍首相がかつて提案した8項目から発展し、今回の首脳会談に合わせて政府および企業間で80の合意文書が締結された。上野教授はこれらを肯定的に評価し、「経済協力の実施は信頼関係の醸成につながります。相互信頼があって初めて平和条約締結交渉が可能になるので、目指している方向は間違っていない」と話している。

<http://sptnkne.ws/cZyh>

## 英女性ジャーナリスト アレッポ解放の様子を語る

(アップデート 2016年12月17日 00:32)

◦ Sputnik/ Iliya Pitalev 1/4 <https://goo.gl/LlndKS>

英国のジャーナリストで平和活動家のヴァネッサ・ビーレイ (Vanessa Beeley) さんは、スポーツニク記者に対し、解放されたアレッポを訪れ地元の人達と話した印象について語った。彼女は、東アレッポで3日間過ごし、NATOやペルシャ湾岸諸国の支援を受けた武装テロリストグループから町を解放する作戦が展開された際、人々が避難する様子を自分の目で見た。また彼女は、多くの市民と、過去、現在、未来のアレッポについて語り合う事が出来た。

地元の人達の言葉を引用し、ヴァネッサさんは、アレッポには長い間、食べ物がなかったと伝えた。テロリストらは、人道援助の食糧を受け取ると、ひどく値を釣り上げてそれらを売っていたという。ハナノ地区では、ある女性など、ひざまずいてテロリストらに食料を乞うほどだったとのことだ。しかし女性は、わずかの食糧を得る代わりに、銃をくわえさせられ殺された。こうしたテロリストらの不道徳さは、スナイパーらがイスラム礼拝堂に陣地を置いていたことにも表れていた。一般市民には、医薬品は全く与えられず、市民は、医療援助をテロリストらに求めるのをただ恐れていた。現在、包囲時に負傷した人々に対しては、ロシア人医師達が迅速に治療にあたっている。

またヴァネッサさんは「シリア政府及びロシアの軍人達は、アレッポの一般市民達を元の生活に戻そうと最大限の努力をしている」と指摘し「どこに行っても、私達は、シリア政府軍やロシアの軍人が、現地の住民に食料品を分け与える様子を目にした」と伝えている。

さらにヴァネッサさんは現地で、シリア政府軍兵士へのインタビューにも成功した。彼女は次の

ように述べている—

「多くの兵士達は、特にハナノ地区で私が見た兵士達、私が話した兵士達は、アレッポ解放後、家に帰ることができました。多くの方は、シリア政府軍部隊が、普通のシリア国民からなっていることをすっかり忘れています。アレッポの解放は、多くの兵士達にとって、故郷の家へ帰れることを意味するものでした。一体何のために誰が、テロリストから町を解放した後で、狼藉を働き、自分達の同胞を処刑したり殺したりするのでしょうか？ そんな事、矛盾しています！」

ヴァネッサさんはまた、世界中のマスメディアが信頼できない情報源を使っていることに触れ、次のように指摘した—

「現在我々は、東アレッポの状況に関してマスメディアが伝える全く信じられないようなヒステリックな報道を目にしています。彼らの行為は、ジャーナリズムの倫理原則の一つ一つを台無しにしています。情報源をチェックせず、単に作り話を垂れ流しています。私は、東アレッポで3日間過ごしました。私には、3GもWi-Fiもありませんでした。電気もなかったのです。携帯電話も使えませんでした。なぜなら信号が届かなかったからです。そんな状況の中で、いわゆる『活動分子』がどうやって、スカイプを通じてビデオを送り画像鮮明なビデオを送ることなどできるのか？ ヒステリックに状況を伝えているニュース番組の司会者やマスメディアの代表に説明してほしいです。」

このように強調したヴァネッサさんは最後に「マスメディアの代表が、この4年間してきた欺瞞が、平和的に暮してきた一般住民の苦しみを深め、住民の避難問題に取り組んできたシリア政府や軍の作業を妨げたのだ」と付け加えた。

なお先に伝えられたところでは、一昼夜で約6,400人がアレッポの町を離れたとのことだ。

<http://sptnkne.ws/cZ7s>

## シリア首都の警察署で爆発

(アップデート 2016年12月17日 01:29)

© Sputnik/ Valeriy Melnikov <https://goo.gl/8cT58B>

シリアの首都ダマスカスの警察署で爆発が起きた。国営シリア・アラブ通信(SANA)が市警察筋を引用して報じた。警察筋は、爆発はシリアのダマスカス南部のミダン地区にある警察署で起きたと付け加えた。ロイターによると、同地区警察署で確かに爆発が起き、数人が負傷したとの情報もある。

<http://sptnkne.ws/cZ7g>

## 米国、仮設住宅不足のためホームレスがホテルへ

(アップデート 2016年12月17日 01:40)

© REUTERS/ Mario Anzuoni <https://goo.gl/DIQRKS>

ニューヨークではホームレスの増大により仮設住宅不足が起き、マンハッタンの高級ホテルを含め、ホテルへの収容が行われている。こうした出費への批判の声も上がっている。NYデイリーニュースより。

ニューヨーク市当局財務部門のスコット・ストリンガー氏によれば、2016年、ニューヨークの中心部にある高級ホテルへの収容は、815件あった。一泊の値段は400ドルをくだらないという。また一泊629ドルの部屋30室への予約が9月19日と20日、ホームレスのために行われたことも判明している。

「9月のニューヨークでの国連総会のため宿泊料が高騰していた。より高いお金を払うことになった」とストリンガー氏。

市当局は現在、ホームレス経費の削減に努めている。

先に米国のホームレスが新聞の販売で稼いだお金で家を買ったことが報じられた。

<http://sptnkne.ws/cZA8>

## 中国、南シナ海で米国の水中無人翼船を捕獲

(アップデート 2016年12月17日 02:06)

© AFP 2016/ POOL / RITCHIE B. TONGO <https://goo.gl/AIQStw>

米国は、南シナ海の国際水域で中国に捕獲された水中無人翼船を返還するよう中国に求めている。ロイターが報じた。報道によれば事件が起きたのは12月15日。

<http://sptnkne.ws/cZ3G>

## メルケル首相「ロシアに対する制裁を緩和することは不可能」

(アップデート 2016年12月17日 07:20)

© AFP 2016/ Clemens Bilan <https://goo.gl/qs0UrP>

ウクライナについてミンスク合意の実施に前進が見られない以上、ロシアに対するEUの制裁を

緩和することは不可能だ。EU首脳会議開催中のブリュッセルにおけるブリーフィングで木曜、ドイツのメルケル首相が語った。

「我々はミンスク合意の実施という面からウクライナの状況について話した。残念ながら、進捗は十分ではなく、制裁を緩和することには根拠がない。」

制裁は「政治的に承認された」通りさらに半年延長され、それは「然るべき技術的プロセスの中で行われる」とメルケル首相。

<http://sptnkne.ws/cZAE>

### **プーチン大統領訪日の意義：専門家の評価**

(アップデート 2016年12月17日 08:32)

© Sputnik/ Sergey Guneev <https://goo.gl/UkSXXv>

プーチン大統領訪日の意義は非常に大きい。近い将来に領土問題が解決されるとは期待しないほうがいいにしろ、共同経済プロジェクトの発展を通じて両国は信頼関係を築くことができるようになる。モスクワ国立大学アジアアフリカ諸国大学東洋諸国政治学部准教授でロシア国際問題評議会の専門家イリーナ・ロマーノワ氏はそう見ている。

日本の主要なパートナーである米国が露日関係の発展を歓迎していないことは周知の事実。ロシアとの政治的コンタクトを推進することで安倍氏は政治的意思を示したのだ、とロマーノワ氏。あわせて同氏は、領土問題は解決を急ぐ必要がなく、「急激な動きは有害になるかもしれない。慎重であるべきだと思う」と述べた。

両国は、これまでに得られた合意が実現されるように、必要な措置を全面的に取るべきだ、と強調した。今こそ「協力改善の機会を活かすべき画期的な瞬間」である、とロマーノワ氏。

先にロシアと日本の協力は平和条約調印を加速させると報じられた。...

<http://sptnkne.ws/cZAN>

### **潘国連事務総長、国連はシリア市民の期待を踏みにじったと告白**

(アップデート 2016年12月17日 15:56)

© REUTERS/ Mariana Bazo <https://goo.gl/5NyXEJ>

国連の潘基文事務総長は事務総長としての最後の記者会見で、国連はシリア市民の期待を踏みに

じったとして、次のように述べた。

「アレッポは、現在『地獄』の同義語だ。我々はみな、シリア市民の期待を踏みにじった。平和は、思いやり、公平性、凶悪犯罪への責任に付き添われるときのみ勝利する」と事務総長は付け加えた。

16日、シリア軍は東アレッポ開放が完了し、シリアにおける紛争の平和的解決のための条件が作られた。ロシア軍参謀本部機動総局のセルゲイ・ルドスコイ局長が述べた。

<http://sptnkne.ws/cZJc>

### **トランプ次期大統領 米国の対外路線変更を約束**

(アップデート 2016年12月17日 19:10)

© AP Photo/ Evan Vucci <https://goo.gl/2dIRJA>

米国のトランプ次期大統領は、自分が大統領に就任したら米国の対外政策は、新しい方針を取ると約束した。

トランプ氏は、自身の当選を有権者に感謝するツアーでフロリダ州オーランドを訪れた際、支持者に対し「我々の対外政策には、新しい方向性が必要だ」と述べ「外の国々を立て直す代わりに、我々自身の国を立て直す」と改めて強調した。トランプ氏は、次のように指摘している—

「我々は、あまりにも長い間、皆さん方の大部分がそれまで聞いたことがなかったような外国への無責任な侵攻を繰り返してきた。そんなことは愚かであり、終わらせるつもりだ！ トランプ政権は、なによりも米国の国益を大切にしよう。」

<http://sptnkne.ws/cZJh>

### **テロリストが軍人の乗ったバスを爆破、トルコ 【動画】**

(アップデート 2016年12月17日 18:01)

© AP Photo/ Emrah Gurel <https://goo.gl/ablM6u>

トルコ中央部の都市カイセリで、市バス近くの車に仕掛けられた爆弾が爆発し、13人が死亡し、48人が負傷した。トルコ軍総司令部が発表した。「今ある情報によると、車に仕掛けられた爆弾が爆発した。これはテロだ。遺憾にも犠牲者と負傷者が出て、その数は確認中だ」カイセリ市長のスレイマン・カムチが述べた。

現地時間8時45分（日本時間14時45分）、エルジエス大学のメインゲートから500メートルの

範囲で爆音が轟いた。これまでの情報によると、爆弾が仕掛けられた車の運転手は、停留所で停まったバスの横に車をつけ、爆弾を起動させた。

動画 <https://goo.gl/t63BGM>

バスには主に、休日にカイセリ市中央部へ向かっていた地元の駐屯所に駐留している、ある特殊部隊の軍人たちが乗っていた。負傷者はすべて、直ちに病院に搬送された。警察は事故地区を完全に封鎖した。事件の捜査が行われている。

<http://sptnkne.ws/cZFc>

### ウォールストリートジャーナル：9.11 テロは米経済への投資を阻害

(アップデート 2016年12月17日 19:51)

© AFP 2016/ Mohammed Al-Shaikh <https://goo.gl/4PC4z5>

サウジアラビアは米国への「金融戦略」を見直し、米国経済への投資を取りやめる構えだ。米ウォールストリートジャーナルが報じた。

同紙が報じるところ、サウジアラビアの決定には2つの出来事が影響している。1つは米下院で、2001年の「9.11」米同時多発テロの犠牲者の遺族がサウジアラビアに損害を求める訴訟提起を可能にする法案が可決されたこと。もう1つは、この法案の支持者であるトランプ氏が次期大統領として選出されたことだ。現在、サウジアラビアの政府系ファンドはすでに、今後の米国のサウジアラビアに対する政策が明らかになるまで、米国経済への投資を停止した。

先に米下院は、2001年の「9.11」米同時多発テロの犠牲者の遺族がサウジアラビアに損害を求める訴訟提起を可能にする法案を可決した。テロ攻撃の大多数はサウジアラビア市民だった。オバマ大統領は下院で可決された法案に対して拒否権を発動したが、米上院は、賛成97、反対1でオバマ大統領の拒否権を覆した。

<http://sptnkne.ws/cZJ7>

### 安倍首相「自分とプーチン大統領は日露には関係発展の無限の可能性があると考える」

(アップデート 2016年12月17日 22:15)

© Sputnik/ Michael Klimentyev <https://goo.gl/g912SJ>

安倍首相は、プーチン大統領の日本訪問結果に関するロシアメディアのインタビューに応じた中で「日本とロシアは、あらゆる領域において、2国間関係発展の無限の可能性を持っている」と述

べた。安倍首相は「プーチン大統領と私は、日露双方がそれを志向するならば、あらゆる領域で関係発展の無限の可能性があると結論に達した」と指摘した。

安倍首相が、今年5月6日にソチでプーチン大統領と会談した際に提案した8項目のプランに従って、二国間の経済協力問題の話し合いが進んでいる。安倍首相は、エネルギー産業、中小企業ビジネス、極東の工業化、輸出基地の拡大といった分野での日露関係強化を示唆している。またそれ以外に、原子力エネルギーを含めた先端技術領域、さらには人道交流の分野での諸提案もプランには含まれている。

<http://sptnkne.ws/cZQF>

### **もしプーチン大統領と安倍首相が平和条約締結に成功すれば、それはノーベル平和賞に値する**

(アップデート 2016年12月17日 23:45 リュドミラ・サーキャン)

© Sputnik/ Michael Klimentyev <https://goo.gl/rVpok2>

プーチン大統領は、日本との平和条約締結について、二国間関係の最も主要な課題だとみなしている。また経済協力の発展も、この課題実現の道具になるに違いないと考えている。プーチン大統領は「もし誰かが、我々が経済交流確立にのみ関心を抱き、平和条約を二義的なものとみなしていると考えているのなら、それは間違っている。私の見るところ、最も肝心なのは、平和条約の締結である。なぜならそれは我々に、歴史的な展望を持った長期的な協同行動の諸条件を創り出すからだ」と強調し、南クリルを「不和のリンゴ(争いの種)」から長期的な協力に向けた前進の要因に変えるよう求めた。

プーチン大統領の言葉によれば「安倍首相は、島での経済活動に関する特別な制度を作り、政府間合意を結び、協同行動のメカニズムをよく検討するよう提案したが、もし露日両国が、この安倍首相が提案したプランの方向に正しく進むならば」、これをベースに、平和条約問題の最終的解決を可能にするような諸条件を創り出すことができる、とのことだ。安倍首相も「北方領土4島」に対する日本の原則的立場は変わらないことを認めながらも、共同経済活動がこの立場を損なうものではないと認めた。

こうした事について、ロシア極東研究所日本調査センターの指導者、ワレリー・キスタノフ氏は、次のようにコメントした—

「安倍氏にとっては、この問題の解決以外に、それ以上高度な政治的決定はない。もちろん彼には、他の諸問題があり、目的や課題がある。今後の対米関係という問題もある。韓国や中国との間にも領土問題を抱えているが、そこでは、問題のいかなる解決策も見えていない。私の個人的な考えだが、もしプーチン大統領と安倍首相がいつか平和条約に調印するようなことになれば、それはノーベル平和賞に値すると思っている。」

露日最高首脳の委任を受けて、両国の外務省その他の省庁の専門家らは、南クリル4島における共同経済活動の形態と諸条件に関する問題の合同協議を開始するだろう。それらは漁業や養殖、観光、医療、エコロジーなどの分野に及ぶものだ。活動は、ロシアの法律を基盤に行われるが、何らかの共同管理のフォーマット作りが見込まれている。

ウラジオストク市議会のセルゲイ・コワリョフ議員は、クリルでの共同経済活動に関する今回の合意について「山に向かって前進する小さな一歩のようなものだ」とし、次のように述べている—

「島に特惠的な投資条件を伴う先進発展地区のシステムが広がれば、日本企業の投資を、特に、漁業加工分野にいち早く引き込むことができるだろう。またクリルの島々が持つ観光や学術研究センターとしての意義を忘れてはならない。有用鉱物の採掘や工業、漁業と並んで、リクレーション・クラスター作りを、協同行動の優先課題とすべきだ。日本政府の公式的立場がどうあれ、ロシア政府は、自主的にクリルと極東の経済的ポテンシャルを共に発展させる必要がある。」

また今回の露日最高首脳会談の結果について、モスクワ国際関係大学の専門家、コンスタンチン・ヴォドピャノフ氏は、次のようにコメントしている—

「具体的には今のところ何もないし、あらゆることがどのように形にされていくのか分からない。今回合意を、両国のエリートは支持するだろうか、まず第一に日本のエリートはどうだろうか。なぜなら国内で安倍氏の方針に異を唱える勢力は大変強く、日本には原則的に親ロシア・ロビーはないからだ。一方政治における親米のベクトルは、まだあまりにも強大だ。それゆえ、米国が不満であったにもかかわらず、それでも今回の会談実施を固く決意した安倍氏にしかるべき敬意を払う必要がある。この事は、対ロシア関係に突破口を開きたいとの彼の強い願いを物語っている。これは良いことだ。どのような場合でも、対話は、それがないより好ましい。ロシア大統領の日本訪問は、今回10年ぶりだった。交渉にとって大変相応しい時期である。現在、安倍氏が示している壮大なジェスチャーは、ロシアとの対話継続に強い関心があることのアカシだ。もちろんこれは、極東発展のために日本企業を呼び込みたい、東方における自分達の経済交流を多角化したいなど様々なことを欲しているロシアにとっても好都合だ。大統領が述べたように、深い経済協力のみが、領土画定問題解決を可能とするような信頼の雰囲気、そして基盤を創り出すことができる。二国間及び国際関係にとって理に適っているかどうかとの観点から見て、公正かつ基礎的にしっかりとそれを成すならば、そうしたものは必ずや創り出されるだろう。」

プーチン大統領の今回の日本訪問の成果となったのは、政治的信頼深化ばかりではなかった。露日の企業間で数多くの経済合意が結ばれた。それは原料資源分野での協力から、工業、ハイテク分野にも及んでいる。日本側からの投資の総額は、締結された契約だけでも、およそ25億ドルになる。

<http://sptnkne.ws/cZXQ>



## ロシアと日本 両国を結ぶ鉄道輸送問題について詳しく検討中

(アップデート 2016年12月18日 05:22)

© Sputnik/ Igor Ageyenko <https://goo.gl/ff7mlu>

ロシアと日本を結ぶ鉄道輸送問題は、詳しく検討されている。ロシア運輸省のアレクセイ・ツイヂェノフ次官が、記者団に伝えた。

土曜日、ツイヂェノフ運輸次官は「日本とロシア、サハリンを鉄道で結ぶ問題は、詳細に検討されている。トンネルと橋との二つのバリエーションがある。サハリンと北海道を結ぶこれらの案については、今のところ評価の段階だ。技術的解決策が決まっていない」と伝えた。

北海道とサハリンを橋で結ぶ計画は有望かどうかについては、かつてロシア鉄道のウラジーミル・ヤクーニン社長も言及している。

<http://sptnkne.ws/cZXR>

## プーチン大統領の訪日は日露関係を新たな高みに導く歴史的な出来事—安倍首相

(アップデート 2016年12月18日 11:53)

写真 <https://goo.gl/aGhp6p>

安倍首相はプーチン大統領の訪日の後、ロシアのメディアのインタビューを受けた。首相は、今回の訪問は露日関係を新たな高みに導いたと強調した。「プーチン大統領の訪日は日露関係を新たな高みに導く歴史的な出来事」だと安倍首相は指摘した。

11年間で初のプーチン大統領の訪日は山口県長門市と東京で2日間行われ、平和条約と南クリル諸島(北方4島)問題という2つの主要なテーマと、2国間の経済協力を捧げられた。プーチン大統領と安倍首相は会談の結果、共同声明を行い、南クリル諸島における日本とロシアの共同経済活動に関する協議開始が、平和条約締結への重要な一歩になり得ると指摘した。

<http://sptnkne.ws/cZXT>

## 中国、米国との貿易戦争開始の可能性を認める

(アップデート 2016年12月18日 12:31)

© Fotolia/ Sean Pavone Photo <https://goo.gl/Bqo9tL>

中国の朱光耀財政次官は、トランプ次期大統領の政策が米中間で貿易戦争を引き起こす可能性が

あるとの可能性を認め、次のように述べた。

「貿易戦争突入の際、中国は、米国での雇用削減を導く対応策に走る。一方、我々はこれが起こることを望まない。これは両国に損害をもたらすためだ」と財務次官は述べた。

財務次官によると、貿易戦争に突入した場合、その長さは、1年を超えない。次官は、1972年、当時のニクソン大統領の訪中から始まり、「着実に発展している」両国間のパートナー関係強化を願っていると付け加えた。

トランプ氏は一度ならず、米国が中国からの輸入品に特別関税を課する必要があると述べている。

<http://sptnkne.ws/cZYP>

## プーチン、安倍両首脳会談：SNSでのコメントに対するメディアのタイトル

(アップデート 2016年12月18日 12:23 アンドレイ・イルヤシェンコ)

◦ Sputnik/ Michael Klimentyev <https://goo.gl/nPJK5S>

プーチン大統領と安倍首相の会談は両国マスコミとソーシャルネットワークでの主要テーマとなった。

まずは軽く統計から。プーチン大統領の訪日というニュースは12月16日、ロシア語でも日本語でも、グーグルとヤフーのトップニュースに入った。ロシアの大手検索システム、ヤンデックスにおけるトップニュースでは、このテーマはアレppoとパルミラをめぐる情勢のニュースに続き2番目になった。

Google <https://goo.gl/DnvBsd>

プーチン大統領と安倍首相の会談は両国マスコミとソーシャルネットワークでの主要テーマとなった

ロシアの主要テレビ局全ては東京からのレポートを交えてのニュースを報じ始めた。当然、日本のテレビ局でもこの出来事を主要ニュースに選んだ。

下の動画は、ロシアのテレビ局チャンネル1が会談を報じた様子だ。

ロシアのテレビ局チャンネル1画像 <https://goo.gl/CVavSK>

TBSテレビは自社サイトで日露ビジネス対話のライブ放送を行った。

TBSテレビ画像 <https://goo.gl/NC9jp2>

当然、ロシアの主要通信局もまた露日首脳会談を主要ニュースに選んだ。

リアーノヴォスチが報じるに、プーチン大統領はクリル諸島に関する「歴史的ピンポン」を止める必要性を述べた。

時差のため、ロシアの全国紙ではこのテーマはまだトップニュースに入っていないが、それでも少なくない場所が割かれている。

以下は、このテーマを報じるニュースのタイトルだ。

**コメルサント紙**：ギフト圧力セット。いかにプーチン大統領と安倍首相はクリル諸島に対処したか。

**ベドモスチ紙**：日露、クリル諸島での共同活動から始める。これは両国にとって得だが、論争は解決しないと専門家。

**独立新聞**：プーチン、安倍両首脳はクリル諸島での経済活動で合意。

**ロシア新聞（ロシア政府が発行する）**：「プーチン大統領はクリル諸島に関する『歴史的ピンポン』を止めるよう呼びかけ」

訪問の結果は、日本の全紙でも主要ニュースである。

**毎日新聞**：＜日露首脳会談＞経済活動交渉推進で合意 共同声明

**朝日新聞**：平和条約「共同経済活動が重要な一歩」 日ロ首脳が声明 日ロ、「特別な制度」交渉開始で合意 共同経済活動

**読売新聞**：首相「ロシアとの平和条約、私たちの世代で」

**日経新聞**：安倍首相、共同経済活動「平和条約締結へ重要な一歩」

ロシアのソーシャルネットワークは日本からのニュースに活発に、そして非常に様々に反応している。

ロシア最大手インターネット情報サイト「レンタ・ル」の読者は訪問の結果を審議し、非常に激しい議論を交わしている。

Dmitry Siberian という利用者は次のように書いている。

主権は残る。ただ日本の漁師が制限なしに魚を捕まえていくだけだ。日本市民は諸島の領域に入ったりすることができるようになるなど。諸島での完全なビザ撤廃。ビジネスを行えるようになるなど。ただ軍はわれわれのものだけだ。

Sdfgbbbsgbsffgnbsdfgn という利用者は訪問の具体的な結果に次のようにコメントしている。

共同経済活動（つまり、われわれの主権領域の共同所有）は、諸島の日本への円滑な移行を意味する。幻想はなく、一義的に絶対だ。

ソーシャルネットワークの利用者には、プーチン大統領の遅れを批判したものもいる。

一方、退役軍人であるジャーナリストのユーリ・タブロフキー氏は、プーチンは日本で非常に立派にロシアを代表したと述べる。<https://www.facebook.com/diplomatrus?fref=ts>

Yuriy Yeres という利用者は、「クリル諸島を日本人に渡すことはプーチン大統領にとって難しくはない。なぜこれが、クリミアをウクライナから取るように、それほど賢明な決定なのかを愛国者たちに説明するのが難しいのだ。」 <https://www.facebook.com/yuriy.yeres>

一方セルゲイ・ニキーチンという読者は憤慨して次のように書いている。

犯罪だ。「小さなシコタン（色丹）島は、直径 500 キロの領海だ。これは太平洋へのロシアの出口だ。これは非常に美しい島だ。ちなみにハボマイはロシア的には（ハボマイ諸島のうち 1 島の）タンフィーリエフ島（水晶島）だ。諸島のために、我々の先祖の血が流された。島を譲渡するどころか、譲渡の意図を口にだすことすら、犯罪だ。ちなみにロシアでは領土の分割と譲渡の呼びかけは刑事犯罪だ。」

日本のフェイスブックでは、この 1 日で 1,100 個の投稿がなされ、会談のテーマについてのポスト 110 以上にリアクションがあった。

ヤフーでは、諸島での共同経済活動問題についてのコメントが、コメント急上昇ランキングで 1 位となっていた。最も人気のあるコメントはかなりの程度、懐疑的だ。

<http://news.yahoo.co.jp/ranking>

sam\*\*\*\*\* | 2016/12/16 16:15 「私の世代で終止符」には、どうやら程遠い結果だったようですね。

cbr\*\*\*\*\* | 2016/12/16 16:12 領土問題はなしのつづてじゃん

who\*\*\*\*\* | 2016/12/16 16:17 期待してただけにガッカリ感が半端ない…

tak\*\*\*\*\* | 2016/12/16 16:29 予想どおり北方領土返還については何の進展もなかったってことですな。

suz\*\*\*\*\* | 2016/12/16 16:42 返還は遠い先になるかも？とも思うが、この先ずっと返還されないんじゃないかとも思う

<http://sptnkne.ws/cZYS>

## 専門家、日本政府はロシアに譲歩との見解

(アップデート 2016年12月18日 14:29)

© AP Photo/ Alexander Zemlianichenko <https://goo.gl/AQTSS2>

日本は12月15日、16日に行われた日露首脳会談で幾分かロシアに譲歩した。上智大学の上野俊彦教授がそのような見解を示した。

上野教授によると、日本側は南クリル諸島における共同経済活動に関してロシア側にやや歩み寄ったことに何よりも注意する必要がある。

上野教授が指摘するには、1998年に発表された、日本国とロシア連邦の間の創造的パートナーシップ構築に関するモスクワ宣言により、イトゥルupp(択捉)島、クナシル(国後)島、シコタン(色丹)島、ハボマイ(歯舞)諸島における共同経済活動委員会の設置が指示された。だが、それ以来この点における具体的な成果は全く挙げられなかった。上野教授は、今回の首脳会談の後にせめて何らかの動きが始まれば、それはロシア側にとって外交的勝利と呼んでもいいものとなると強調する。

南クリル諸島における共同経済活動は、法律面においても主権に関する複雑な問題があるため、容易な課題ではない。これは、モスクワやペテルブルク、ウラジオストクでの合弁事業設立に関する経済活動とは異なる。そのため両国首脳は、共同経済活動実現化における相互譲歩ができれば、平和条約締結における進歩につながると考えている。

上野教授によると、今回の日露会談の主な目的は、両国間の関係を以前の水準にまで戻すことにある。平和条約に関する交渉での進歩を期待していた日本人にとっては、今回の会談の結果は失望させるものだが、日露関係回復を期待していた人は、会談が目的を達成したと見なすと考えてもいいと上野教授は述べる。

<http://sptnkne.ws/cZZg>

## フィリピン大統領 「米国よ、さようなら」

(アップデート 2016年12月18日 15:44)

© AFP 2016/ Ted Aljibe <https://goo.gl/Sz1M3g>

フィリピンのドゥテルテ大統領は、米国のフィリピンへの支援停止に関する計画を激しく批判した。AP通信が報じた。

先に米国の外国支援機関「ミレニアム挑戦公社」は、フィリピン向け資金供与に関する投票を保留した。同公社は、支援再開はフィリピンの「法の支配と人権」状況次第だと発表した。

これを受けてドゥテルテ大統領は、フィリピンは「米国の金がなくても生きていける」と述べ、米軍のフィリピン駐留に関する協定を撤回すると脅した。

ドゥテルテ大統領は、「目には目をだ。もしあなたがそれをするのであれば、我々も同じだ。これは一方にとって有利なゲームではない」とし、「米国よ、さようなら」と述べた。

またドゥテルテ大統領は、「ロシアが非常に重要な同盟国になるかもしれない。彼らは侮辱もしなければ介入もしない」と付け加えた。

ここ数ヶ月で米国とフィリピンの関係は著しく悪化し、ドゥテルテ大統領は米国に対して激しい声明を一度ならず表している。

<http://sptnkne.ws/cZZk>

## **NI：来年、どこで新たな武力紛争が発生する可能性があるか**

(アップデート 2016年12月18日 17:34)

AHMAD AL-RUBAYE <https://goo.gl/YGkUZb>

米国の次期大統領ドナルド・トランプ氏は困難な外交環境の中に就任し、世界の諸大国の対立の激化をもたらす脅威を排除するため、相当な骨折りを覚悟する必要がある。武力紛争が起これかねない危険な「ホットスポット」が世界には複数ある。ナショナル・インタレスト誌のコラムニスト、ロバート・ファーリー氏が述べた。

まず第一に、朝鮮半島で衝突の危険性が高い。北朝鮮が核・ミサイル能力を増加し続けていることに加え、韓国の政治危機もその理由の一端を担う。

米国の次期大統領のいうように、米国が北朝鮮に対し予防的攻撃を仕掛けて北朝鮮の核兵器の問題を解決したり、または逆に、北朝鮮が米国に先制攻撃を仕掛けたりすれば、本格的な軍事衝突に発展する可能性がある。

もう一つの「ホットスポット」は内戦中のシリア。そこでロシア軍と米国軍との偶発的な衝突、たとえば誤爆があれば、大きな紛争になりかねない。

シリアに加えて、パキスタン・インドの国境も危険である。パキスタン首相との電話会話でトランプ氏が提案したように、米国がカシミール紛争における仲介役を果たせば、紛争は一層悪化する可能性がある。

バルト諸国でも露米間の対立が激化する危険性がある。トランプ氏がNATOへの債務を履行しないNATOの欧州メンバーを保護する必要性に疑義を呈したことは、米露関係の緊張のレベルを

低減するというポジティブな意味を持っていると同時に、米国とロシアとの間の紛争の勃発というリスクをももつ。

<http://sptnkne.ws/daag>

### **ドイツ連邦議会の文書盗難で疑われているのはウィキリークスの秘密諜報員**

(アップデート 2016年12月18日 18:49)

© Flickr/ Frank Haase <https://goo.gl/wXhblE>

内部告発サイト「ウィキリークス」によるドイツ連邦議会の文書公開に、同議会のメンバー1人が関与している可能性がある。ドイツの週刊誌デア・シュピーゲルが17日、伝えた。

この人物が、ウィキリークスが公開したドイツの情報機関と米国家安全保障局（NSA）との協力に関する文書をウィキリークスに渡した可能性があるという。

なおデア・シュピーゲルは、公開されたデータがハッカー攻撃によって得られたという証拠、さらにその攻撃にロシアが関与しているという証拠は一切ないと指摘している。

現在の有力な説は、ウィキリークスにはドイツ連邦議会に独自の諜報員がおり、この諜報員は国の情報機関の協力に関する調査に直接関わっていた、というもの。

「ウィキリークス」は12月1日、約2,500件の文書を公開した。なおドイツ連邦議会のサーバーが攻撃を受けたと最初に報じられたのは、昨年5月。

<http://sptnkne.ws/dasy>

### **世論調査：日本人の半数以上が露日首脳会談を否定的に評価**

(アップデート 2016年12月18日 18:58)

© REUTERS/ Toru Hanai <https://goo.gl/IJRBNF>

共同通信の調査によると、日本人の54.3%が安倍首相とプーチン大統領の二国間会談の結果を否定的に評価している。これを背景に安倍内閣の支持率は11月から5.9%下落、54.8%になった。両首脳会談を肯定的に評価しているのは回答者の38.7%。

<http://sptnkne.ws/daeM>

## ベルリンの商店でダーイシュ（IS）のシンボルが購入できる

（アップデート 2016年12月19日 09:04）

© AP Photo/ Fred Ernst <https://goo.gl/iTN842>

ドイツの住民はイスラム教徒向け商店で簡単に過激派の商品を購入することができることに憂慮を覚えている。

ロシア・トゥデイ特派員がベルリンのノイエケルン地区にある商店に入り何か買ってくるよう女性のイスラム教徒に依頼すると、女性は完全に体や顔を覆う子供用ニカブを買ってきた。

ドイツのイスラム教指導者は、このような衣服が子供に有害な原理主義的思想を植え付けることを危惧している。クルド人移民コミュニティのジャヒド・バシャー代表は、子どもたちにニカブを着せることは刑事犯罪であると考えている。「私はこのような行為を停止するよう地方自治体に依頼した」と同氏。

また、女性は「ムハンマドはアッラーの預言者」と書かれた指輪を購入。このフレーズはダーイシュに関連している。ドイツを含むすべてのEU諸国でこうした文句が書かれた黒旗が禁止されている。しかし指輪は簡単にベルリン中心部で購入することができる。

それより前に、ドイツのメルケル首相は初めて、ブルカ着用の完全禁止支持とみられる発言をした。

<http://sptnkne.ws/das5>

## NATO事務総長：NATO介入はシリア情勢を悪化させる

（アップデート 2016年12月18日 21:52）

© REUTERS/ Inquam Photos/Octav Ganea <https://goo.gl/KSUIST>

NATOのストルテンベルグ事務総長は、タブロイド紙「Bild」のインタビューで、NATO加盟国はシリア紛争への積極的な軍事介入を適切だとは考えていないと述べ、なぜならこれは人道状況を悪化させ、一般市民の犠牲者をさらに増やす恐れがあるからだと指摘した。またストルテンベルグ氏は、NATOの任務は今まにかつてなかったほど重要だとし、それは「世界が以前よりも危険になったからだ」との見方を示した。

ストルテンベルグ氏は、NATOはただでさえ身の毛のよだつような人道的大惨事の悪化を望んではないと再度強調し、「シリアについてNATOのパートナーたちは、軍事介入は状況を悪化させるだけだとの結論に達した」と述べた。



多くの国がシリア紛争に関わっているというのも難しい点の一つだが、NATOの課題はまず「アサド政権への反対」ではなく、テロ組織「ダーイシュ（IS、イスラム国）」との戦いにある。

先に、ナショナル・インタレスト誌は、2017年にどこで新たな武力紛争が発生する可能性があるかについて報じた。

<http://sptnkne.ws/daeX>

## プーチン大統領が安倍首相に贈った絵画に込められた象徴的な意味は何か？

(アップデート 2016年12月19日 08:58 リュドミラ・サーキャン)

© Sputnik/ Sergey Guneev <https://goo.gl/kF2oHs>

プーチン大統領は、山口県長門市を訪れた際に安倍首相と象徴的な贈り物を交換した。プーチン大統領には安倍首相から「プチャーチン来航図」と呼ばれる絵の複製が、安倍首相には「コロメンスコエのロシアのトロイカ」という名の絵が贈られた。

日本では、1855年に露日和親条約に調印したプチャーチンの名はよく知られている。露日和親条約は、両国の国境を定め、通商のために日本の3つの港が開かれ、領事関係が始まった。

当時フリゲート艦にはプチャーチンの秘書官として、作家で文芸評論家のイワン・ゴンチャロフが乗っていた。ゴンチャロフは日本側との交渉に出席し、日本人はゴンチャロフを影響力のあるプチャーチンに次ぐほぼ2番目に重要な人物として受け止めた。ゴンチャロフは航海中に旅の印象を書き始め、それは1858年に『フリゲート艦パルラダ号』として刊行された。同書籍は、ゴンチャロフの生存中だけでも6回発行されるほど人気を博した。

プーチン大統領に贈られた絵には、ロシアと日本の交流が描かれている。複製画には、日本の宝とされ、ユネスコの無形文化遺産に指定された和紙が使用されている。絵巻の原画は、東洋文庫の所蔵。

なおプーチン大統領が安倍首相に贈った絵画は、イーゴリ・ラズジヴィン作の「コロメンスコエのロシアのトロイカ」。ラズジヴィン氏は我々の同時代人で、モスクワ郊外に住んでいる。同氏は「国際芸術基金」のメンバーで、30年も前から国内外の展覧会に出品している。ラズジヴィン氏は「スプートニク」のインタビューで、次のように語った—

「プーチン大統領や他の身分の高い人たちが私の作品をプレゼントするのは今回が初めてではありません。ただこれまでマスコミに画家の名前が伝わっていただけです。もちろん私の作品が日本の首相に贈られたのはとても嬉しいことです。この作品は、今は博物館施設があり、以前はコロメンスコエ村があった場所で昨年描かれたものです。でも非常に寒くて屋外で描くのは不可能だったので、家で描きました。風景は記憶をもとに描き、馬のトロイカは私の芸術的イメージで

す。またこれは、ロシアのイメージです。もしこの絵が日本の首相に喜びを届けることができれば嬉しいです。そしてもし私の作品が、ロシアと日本の関係向上にほんの少しでも貢献できれば幸いです」。

twitter.com/ <https://goo.gl/8HLYtk>

イーゴリ・ラズジヴィンさんの作品は、同氏のホームページでご覧いただけます。

<http://rivart.ru/art/>

<http://sptnkne.ws/dagv>

### **アレッポの城塞、市民向けに再び開放される**

(アップデート 2016年12月19日 08:05)

© Sputnik/ Michael Alaeddin <https://goo.gl/3ByDRX>

市民が再びシリアのアレッポにある歴史的建造物・城塞を訪れることができるようになるかもしれない。スプートニク特派員が現地から伝えた。

旧市街周辺からテロリストを一掃し、ユネスコの文化遺産に登録されている古代の城塞に到る道が整備され、再び市民が城塞にアクセスできるようになった。城塞自体は2013年に政府軍によって解放されていたが、市内で戦闘が行われていたため、旧市街の南部から城塞に直接出ることができない秘密のトンネルを介してのみ、訪問が可能となっていた。城塞への表玄関と歴史的な中心部の北部と西部はテロリストに制圧されていた。

戦闘員らは城塞を再制圧しようと定期的にトンネルを掘っており、これに多数のミサイルや迫撃砲による攻撃も加わって、史跡は損傷している。

<http://sptnkne.ws/dasB>

### **安倍首相、日露首脳会談について：「本格的な領土問題の話に入ったと私は思っている」**

(アップデート 2016年12月19日 06:34)

© Sputnik/ Michael Klimentyev <https://goo.gl/pGGHxb>

安倍晋三首相は18日夜のフジテレビ番組で、日露首脳会談で協議入りに合意したクリル諸島での「共同経済活動」について、両国による特区をイメージしていると明かした。共同通信が報じた。

日本人とロシア人が一緒に住む「居住特区」を考えているのかと質問され「大体そのイメージだ。

世界でもあまり例はない。まさに共存共栄の姿だ」と述べた。首脳会談を振り返り「本格的な領土問題の話に入ったと私は思っている」と強調。共同経済活動を進めることで「領土問題の解決に必ず結び付いていく」と語った。

共同経済活動を実現する際の課題については、企業利益や個人所得に対する課税を挙げ「専門的な協議が必要だ」と指摘した。元島民の往來手続きの簡素化については「時間を置くつもりはない。先方もよく分かっている」と述べ、元島民の高齢化を踏まえて実現を急ぐ考えを示した。

先に、17日のタス通信との会見で安倍首相は「日本とロシアがアジア太平洋地域の安全保障分野で協力できれば、この地域がより安定的になり、平和がより強固なものとなることに疑いはない」と述べた。

首相はプーチン大統領との会談で、北朝鮮が核・ミサイル開発により挑発行為を続けているとの認識で一致したと明らかにし「ロシアが建設的な役割を果たすことに期待する」と語った。同時に、拉致問題は安倍政権にとって「最も重要な問題だ」と強調し「ロシアの協力が必要だ」と呼び掛けた。

日露が協議開始で合意したクリル諸島での共同経済活動を巡っては「日露間のみの特典的な制度」であり「平和条約問題の解決に向けた重要な一歩」と重ねて訴えた。

<http://sptnkne.ws/dar2>

## **プーチン大統領訪日の経済的な結果：「ロシアは怖いイメージがあった。もっとお互いを知ることが重要だ」**

(アップデート 2016年12月19日 08:30)

© Sputnik/ Michael Klimentyev <https://goo.gl/6AqGsT>

東京都内で16日開かれた「日露ビジネス対話」で大手商社幹部は「日露関係のターニングポイント(転換点)になるかもしれない」と歓迎。共同通信が伝えた。

「日本はアジア太平洋地域の重要なパートナーだ」—プーチン大統領が日本企業トップらにこう指摘すると、緊張感が支配していた会場の空気が一気に和んだ。経団連の榊原定征会長も「両国の信頼関係を醸成することが、平和条約締結につながる」と総括した。

ロシア穀物企業幹部は日本に来て印象が変わったと指摘した：「日本人の食事といえばコメと魚介類のイメージしかなかったが、ジャガイモの需要が大きいことが分かった」。日本の大手物流幹部はビジネス拡大に意欲を見せ、「ロシアは怖いイメージがあった。もっとお互いを知ることが重要だ」と応じた。

露日両政府が 16 日合意した企業の経済協力は、ふたを開けてみれば当初想定 of 2 倍を超える 68 件に膨らんだ。ロシアの関心が高いエネルギー分野が 3 分の 1 近い 20 件、極東振興分野も 14 件に上り、関係者は「領土はだめだったけど経済は合格点だ」と自画自賛した。

実は経済協力案件の積み上げは難航。10 月中旬、ロシアに制裁を科す欧米を気にして大手商社やメガバンクは及び腰で、経済産業省幹部は「一日中企業に頭を下げて回っているよ」と苦笑していた。交渉筋が「直前にも米国の圧力で案件が減らされそうになった」と明かすように曲折を経たが、最後は安倍首相の強い決意に民間企業が引き込まれていった形だ。

ただ、経済制裁が続くロシア向けの投資拡大にはおのずと限界がある。今回、三井住友銀行とみずほ銀行は政府系天然ガス企業ガスプロムへの協調融資を決めたが、米国事業が大きい三菱東京UFJ 銀行は参加しなかった。米金融当局の報復を恐れたとみられる。

ロシアには政治的なリスクもある。ある与党議員は「ロシアは環境が厳しく採掘コストは高い。日本企業が投融資を回収できるか心配だ」と早くも不安を漏らした。

**動画** facebook.com/ <https://goo.gl/W1jLj4>

<http://sptnkne.ws/dasG>

## トランプ氏、ツイッターで中国を批判し、スペルミスした

(アップデート 2016 年 12 月 19 日 08:51)

© AFP 2016/ Robyn Beck <https://goo.gl/8Efk9A>

共同通信によると、南シナ海で中国が米国の無人水中探査機を奪ったことを批判したトランプ次期米大統領のツイッターの投稿にスペルミスがあり、インターネット上で話題になった。

「前代未聞(unprecedented)」の暴挙だと中国を非難しようとしてつづりを間違え、「大統領にふさわしくない」とも読める実在しない言葉を書き込んだためだ。

China steals United States Navy research drone in international waters - rips it out of water and takes it to China in unprecedented act.

twitter.com/ <https://goo.gl/AFesZM>

トランプ氏は 17 日、「中国が公海で米海軍の無人水中探査機を盗んだ」とし、「unpresidented な行為だ」と投稿。これは存在しない単語だが、「大統領にふさわしくない」という意味の単語「unpresidential」に似ていた。トランプ氏はすぐに訂正したが、ネット上で「つづりも知らない」と批判が出た。声明などではなく、ツイッターで中国をこき下ろすト

ランプ氏の姿勢は無責任だとして「大統領としてどう振る舞うかを示した。恐ろしいことだ」と不安視する声も上がっている。

<http://sptnkne.ws/dasH>

## 露日関係とスパイ・スキャンダル

(アップデート 2016年12月19日 09:52)

◎ 写真: Spoilt.exile <https://goo.gl/s0hgJK>

露日関係における変革的事象はしばしばスパイ事件と同時に起こった。日本の社会安全保障担当機関がそれを告発した。偶然か、法則性に則ったことか、答えはない。推測するしかない。

1983 ◎ Sputnik/ Vyasheslav Runov <https://goo.gl/4Tlojz>

日本商工会議所会頭永野 重雄氏が米国の対ソ制裁が有効中にも関わらず大規模経済協力プロジェクトを討議するべく日本企業の社長らからなる代表団「永野使節団」をソ連に派遣。

代表団の到着前夜米国議会ではソ連対外諜報将官を自称し1979年に政治亡命を求めている「新時代」誌記者スタニスラフ・レフチェンコ氏の公聴会が行われていた。

1997 ◎ Sputnik/ Vladimir Rodionov <https://goo.gl/v6F4RU>

1997年7月24日、橋本龍太郎首相が経済同友会で対露連繫発展の新戦略を報告 7月15日日本警察がロシアの不法な東京代表部を摘発。特殊機器のサンプルが提示されたが誰も逮捕はされず <https://goo.gl/LjWN9r>

1997 ◎ Sputnik/ Vladimir Rodionov <https://goo.gl/e3L3XS>

1997年11月1～2日、クラスノヤルスクでボリス・エリツィン大統領と橋本龍太郎首相の最初の非公開会談。2000年末までに平和条約締結をめざし全力を尽くすことで合意

1997年11月、警察がロシアの東京における通商代表部との連絡につき日本人をスパイ容疑で逮捕

## 2000

2000年9月3～5日、プーチン大統領が日本を初公式訪問、40年の休止を解き1956年の共同宣言に復帰し平和条約締結交渉を開始することを宣言

◎ AFP 2016/ JIJI Press <https://goo.gl/whXcfD>

2000年9月7日、警察職員が日本海自将校をロシア大使館職員で駐在海軍武官のヴィクトル・ボガテンコフ氏に秘密情報を提供したとして逮捕

## 2002～2003

◎ Sputnik/ Sergey Guneev <https://goo.gl/dyh7jb>

2003年1月10-11日、小泉純一郎首相が初のモスクワ公式訪問、露日関係発展の行動計画が策定された。訪問準備は2002年を通じてなされた。そのため同年2月には東京をロシア外務省イーゴリ・イワノフ大臣が訪れた

2002年3月、軍事装備の提供を担う日本企業の社長がロシアへの秘密情報譲渡で逮捕された

## 2005

2005年9月19日、メディアで大反響を呼んだ日本におけるKGBの活動を描いたいわゆる「ミトロヒン・アーカイブ」の第二部の翻訳が日本で刊行

[http://www.ac.auone-net.jp/~oknehira/Mitrokhin\\_Archive.htm](http://www.ac.auone-net.jp/~oknehira/Mitrokhin_Archive.htm)

<http://sptnkne.ws/dasK>

### **ヨルダンで武装集団、襲撃し、死者が10人。**

(アップデート 2016年12月19日 11:02)

◎ REUTERS/ Muhammad Hamed <https://goo.gl/KIRBws>

ヨルダン中部カラクで18日起きた武装集団と警官隊の銃撃戦で、カナダ人女性観光客1人とヨルダンの警官7人、地元市民2人の計10人が死亡した。AP通信に基づいて共同通信が報じた。

武装集団は観光客を人質にとって観光地のカラク城に立てこもり、警察は武装集団側の4人を殺害した。外国人2人を含む34人が負傷した。

犯行声明は出ておらず、武装集団の素性或動機は不明。警察は城周辺の捜索で大量の武器を押収した。

カラク城は十字軍が建設したとされ、考古学博物館が併設されている。

<http://sptnkne.ws/dasU>

### **日本、分かれる露日首脳会談への評価、政府と元島民複雑なへだたり**

(アップデート 2016年12月19日 18:20)

◎ 写真: Russian Presidential Press Office/Sergey Guneev <https://goo.gl/aaWWKS>

先週15~16日に行われたプーチン大統領訪日の後、日本ではその評価をめぐって政府側と元島民

側の見解は分かれている。

安倍首相は「元島民の願いを少しでも叶えられた」と、元島民のクリル諸島（日本のいう北方領土）への自由往来を拡大で大筋の合意がえられたことを評価した。

菅官房長官は19日の記者会見で日露首脳会談について評価を行った。まず平和条約について菅長官は「終結後に向けて重要な一步が踏み出せた」とし、領土問題の解決について進展が得られなかったとする野党側からの厳しい批判については「領土問題や経済など幅広い分野について日露関係を前進させられる会談になった」と前向きな評価を出した。

一方、4島返還の進展を期待していた元島民には、問題を先送りされた感じがいなめないという失望感もある。

根室市で開かれた千島歯舞居住者連盟の記者会見で協理長は、諸島で露日が共同経済活動を行うための「特別な制度」についての交渉開始を合意した点について、これを最終的に領土問題にも結び付けたいという政府の意向だと受け止めたと発言する一方で、日本の主権を侵害せず、元島民の財産権を侵さないという前提を崩すべきではないとの考えを示した。元島民らからは、主権問題に先行して共同経済活動が取り込まれることに対する慎重な姿勢が示されている。

<http://sptnkne.ws/dazc>

## 「アレッポの少女バナ」：実在の人物か、それとも誰かのメディア・プロパガンダか？【写真】

(アップデート 2016年12月19日 20:11)

◎ AFP 2016/ Thaer Mohammed <https://goo.gl/ocGHdl>

政府寄りのシリア人活動家マイザム・アル・アシカル氏は、「アレッポの少女」の母親に、町から避難するよう提案した。そして少女のSNSアカウントが、プロパガンダの道具であることを確信した。スプートニクが報じた。

9月、7歳の少女バナ・アラベドさんのツイッターアカウントが開設された。アラベドさんは東アレッポでの砲撃にさらされた恐ろしい生活について語っている。11月末、アシカル氏はバナさんに個人用メッセージを送り、家族と一緒に町から避難する手助けをすると申し出た。

[twitter.com/](https://twitter.com/) <https://goo.gl/0QKbh0>

その時アシカル氏はすでにバナさんとその家族を町から国内のあらゆる場所、あるいは外国へ連れ出す可能性についてシリア当局と合意していた。またアシカル氏は、イスラム組織「アル・サフワ」の一員であるバナさんの父親の刑事訴訟の問題も解決していた。

「ねえ、バナ、お父さんに聞くことはできるかな？　なんでお父さんには『アン＝ヌスラ』や『アハールアル・シャム』のジハード主義者の友達がいるのかって」

twitter.com/ <https://goo.gl/3mwUaP>

2週間後、バナさんの代理人がアシカル氏と連絡を取ってきた。そしてシリアの少女バナさんのアカウント管理者とのやり取りが始まった。

そしてほとんどすぐに、この人物が英語を好んでいることが分かった。同人物が、全てのシリア人にとっての母国語であるアラビア語のメッセージに答えたことは一度もなかった。

◎ 写真: Maytham Al Ashkar Twitter conversation between Maytham Al Ashkar and al-Abed' s account <https://goo.gl/uv7cCv>

「伝説」によると、バナさんの他にアカウントを利用しているのは、バナさんの母親のファティマさん1人だけ。

アシカル氏は、バナさんの代理人とのやり取りを続けた。しかしシリア政府からの全ての保証があるにもかかわらず、やり取りは何の成果もなく終わった。代理人は、アシカル氏があまりにも事を急ぎすぎたことを理由に、申し出を断った。

アシカル氏は、「アカウントを通じて私とやり取りした人物が、（バナさんがツイッターに書いていた止むことのないアレppoの砲撃を）恐れていなかったのは確かだ」と述べた。アシカル氏はバナさんについて、英国の情報機関が使用している道具にすぎないと主張している。

アシカル氏によると、バナさんと英国のつながりはNGO「白いヘルメット（White Helmets）」を通して辿ることができる。バナさんのアカウントは「白いヘルメット」と「緊密に関連」しており、「白いヘルメット」は英国政府から資金提供を受けているという。

複数のネットユーザーも「シリアの少女」と英国のつながりを追跡することに成功した。バナさんのSNSのメタデータプロファイルは、アカウントが英国で登録されたことを示唆しているというのだ。

twitter.com/ <https://goo.gl/EvCoCs>

アシカル氏は、バナさんの代理人たちは「嘘」を暴くためにアシカル氏とやり取りを始めたと確信している。アシカル氏に実際は助ける意思などなく、アシカル氏はシリア政府のプロパガンダに取り組んでいる人物だということを示すために、このやり取りを利用しようとしたというのだ。

twitter.com/ <https://goo.gl/II86WB>



アシカル氏は、「私は利用され、侮辱されている少女を助けることを心から望んでいた。そしてシリア当局は私の要望に応じてくれた」と締めくくった。

<http://sptnkne.ws/da2t>

#### 四島で共同経済活動：今回は失敗したが、今回はうまくいく理由

(アップデート 2016年12月19日 19:59 徳山あすか)

© Flickr/ Peter <https://goo.gl/xAgb83>

日露首脳会談が終わって一息ついたが、その結果は日本では概ね辛口に受け止められた。日本メディアでは、あたかも会談と同時に領土問題が解決するのではないかという勢いで事前報道がなされていたため、拙速な期待を抱き、反動でがっかりしてしまった人も多かったようである。

しかしそう悲観だけする必要はない。両首脳が「択捉島、国後島、色丹島および歯舞群島における日本とロシアによる共同経済活動に関する協議を開始することが、平和条約の締結に向けた重要な一歩になり得るということに関して、相互理解に達した」（プレス声明より抜粋）ことは、前向きに捉えてよいのではないか。何しろ四島での共同経済活動は18年前に唱えられて以来、全く進まず、これまで領土問題の糸口にもなっていないのだ。むしろそれを協議しようとするほど、日露の立場の違いが鮮明になり、主張は行き別れになった。古いアイデアに今あらためてチャレンジするというのは、目的を完遂する覚悟がないとできない。

スプートニクは旧ソ連およびロシア政治の専門家である法政大学の下斗米伸夫教授に話を伺った。下斗米教授は、今回の日露首脳会談を「一種のリセット」と評価する。

下斗米教授「1956年の日ソ共同宣言から60年が経ち、今回の日露首脳会談で一種のリセットができたと思います。共同経済活動を軸に、自由往来などの形で、旧島民と現島民が共存共栄をするという考え方ができたのですから。そして、両国の主権の主張、お互いの立場を害さない特殊な法的形態のもとでの共同経済活動を目指すという意味では、非常に新しいアプローチです。私はこれを前向きに評価します。」

四島の共同開発自体は、エリツィン政権時代、当時のプリマコフ外相が1996年に来日した際に提案したものだった。その2年後には当時の小渕恵三首相がロシアを訪問。「日露間の創造的パートナーシップに関するモスクワ宣言」に署名し、どのような共同経済活動ができるか可能性を探ることになったが、頓挫した。下斗米教授は、当時と今回では、国のリーダーの「腰の入り方が違う」と話す。

下斗米教授：「当時は政治的な意思、気持ちが入っていたとは言えません。今回は安倍首相とプーチン大統領が、共同経済活動の条件や形態について協議を開始することの保証人となり、声明も出たわけですから、政治の腰の入れ方が違います。それに加え、8項目の日露経済協力を基にした

大小様々なプロジェクト締結に代表されるとおり、周囲の環境も変わりました。北方領土での共同経済活動は、平和条約締結交渉のための梃子になり得ます。」

安倍首相は16日に報道番組に出演した中で、共同経済活動について「日本法でもない、ロシア法でもない仕組みを作れる」と述べた。始動の可否はまさに、日露双方が受け入れられる制度設計ができるかどうかにかかっていると言えよう。サハリン州のコジェミャコ知事は、17日に北海道の高橋はるみ知事と会談し、諸島と北海道の間に直航便を飛ばすというアイデアを提案し、クリルには日本側と協力できる事業が多数あると話した。日本の企業関係者、そして元島民のためにも、まずは日本本土と四島の交通の便が迅速に改善され、共同経済活動の足がかりになることを期待したい。

<http://sptnkne.ws/da5t>

### **シリア政権、武装戦闘員の化学兵器使用の証拠を提出**

(アップデート 2016年12月19日 20:06)

◎ AP Photo/ Alfonso Perez <https://goo.gl/1Q6pjv>

シリア政権は化学兵器禁止条約組織の国際使節団に対して、武装戦闘員らが有害化学物質イペリットを使用していた証拠を手渡した。シリアの化学兵器禁止条約実現に関する国家機関のサメル・アッバス代表が明らかにした。アッバス代表は「国際使節団に対して資料を提出した。これらの資料はチェックされ、受領された。使節団はサンプルを採取し、これを分析にかけるために再度シリアを訪れる」と語っている。

資料とは、ロシア国防省の専門家らによって採取された証拠で、2016年10月31日、アレッポ州アブリン地区ムレット・ウム・ハウシュ居住区においてイペリットが装填された240ミリ地雷が使用されたことを示すもの。アッバス代表はさらに次のように語っている。

「物質的な証拠（サンプル）は、ハーグにチャーター便で届けるための財政的な困難が解決されるまで、鉛で封印されシリア人の責任で保管されている。証拠の積み出し時期は現時点では2017年1月をめどとしている。」

<http://sptnkne.ws/da4e>

### **米国のNATO大使はロシアの攻撃性を信じてはいない**

(アップデート 2016年12月19日 20:31)

◎ REUTERS/ Francois Lenoir <https://goo.gl/Zjwq0Y>

米国のダグラス・リュートNATO大使は、ABC Newsのインタビューで、ロシアにNATOを攻

撃する意思があるとは信じていないと述べた。

なおリュート氏は、米国とその同盟国のために、ロシアのプーチン大統領を研究することを仕事としているが、ロシアを「NATOにとって不安定性、不確実性、予測不可能性の大きな源である」と考えている。

リュート氏によると、ロシアは武力紛争ではなく、「虚報キャンペーン、さらには社会の混乱を促進するキャンペーン」の実施を計画しているという。

先に、ドイツのメルケル首相は、ロシアとNATOの関係を見直す必要性を発表した。

<http://sptnkne.ws/da5E>

### **キエフの「リア-ノーヴォスチ」通信のオフィスに過激派が押し入る**

(アップデート 2016年12月19日 21:36)

◎ Sputnik/ Andrei Stenin <https://goo.gl/NmJr1N>

約20人の激昂した若者がキエフの「リア-ノーヴォスチ」オフィスに押し入り、ウクライナ・ロシア同郷人会の枠内で行われていたウクライナ諸都市とのテレビ会議を停止するよう求めた。若者らは反ロシア的スローガンを叫んでいた。職場に残っていた職員が警備員や警察を呼び、彼らの到着後、過激派は撤退した。現在オフィスは正常に稼働している。

<http://sptnkne.ws/daSD>

### **デイリーメール：英国メディアはアレッポについて虚偽を振りまいている**

(アップデート 2016年12月19日 22:03)

◎ Sputnik/ Michael Alaeddin <https://goo.gl/4guU4g>

最近のアレッポの状況について報じる英国のメディアはほとんど全て事実に基づかない虚偽を振りまいている。デイリーメールのコラムニスト、ピーター・ヒッチェンズ氏が述べた。

「この数日、アレッポから180マイル離れたバイルート、または2,105マイル離れたロンドンから、アレッポ東部の事象について鮮烈なルポルターージュが大量に届けられている。そこでは、アレッポでは女性や子供が殺され、生きたまま焼かれている、などとされている。」

情報のソースは「活動家」とされているが、その正体は不明。「私の知る限りでは、先週、アレッポ東部には一人の職業ジャーナリストもいなかった」と同氏。

また英国メディアは「アルカイダ」支持者を「蜂起勢力」などと呼び、キャメロン元首相にいたっては、「穏健」反体制派と呼んでいた。メディアのこうした語用は理解が困難である。もしこれら「蜂起勢力」が他の場所、たとえば英国にいれば、メディアは間違いなく「過激派」「ジハーディスト」「テロリスト」「狂信者」と呼んだであろう、と同氏。

先にシリアに関する虚偽の情報の多さについて他の専門家からも語っていた。

<http://sptnkne.ws/daS5>

### **マッケイン上院議員、米国はオバマ政権で世界の覇権を喪失**

(アップデート 2016年12月19日 22:32)

◎ AP Photo/ J. Scott Applewhite <https://goo.gl/TRgJel>

米アリゾナ州出身の共和党議員、ジョン・マッケイン氏は世界で昨今起きている事件の数々は米国が世界に有していた覇権を失ったことを証明しているとの声明をあらわした。

マッケイン議員はCNNからのインタビューに対し、「これは第2次世界大戦後に確立されていた国際秩序が破られた印だ。これは全世界史のなかでもっとも平和が長く続いた時期だった」と語った。

マッケイン氏は、シリアのアレッポの状況、米大統領選挙時のサイバー攻撃、南シナ海の国際水域で米国の無人潜水機が盗まれた事実を列挙している。

マッケイン氏はこうしたことのすべての原因は米国の覇権が完全に破られたことにあると強調した。

<http://sptnkne.ws/daHe>

### **EU、ロシアに対する制裁を延長**

(アップデート 2016年12月19日 23:20)

◎ Sputnik/ Vladimir Sergeev <https://goo.gl/Uc8p9E>

EUは月曜正式に1月末期限切れとなるロシアに対する制裁を7月31日まで延長することを決定した。欧州理事会の報告書より。それによれば、「2015年3月19日、欧州理事会は、2015年12月31日までに履行される予定であったミンスク合意の完全な履行と制裁の期間を関連付けることで合意した」。

「欧州理事会の12月15日の会合でミンスク合意の履行について評価した上で、制裁をさらに6ヵ月延長させ、2017年7月31日までとすることに道を開いた。これを受け19日、書面の手続きにおいて正式に延長決定を採択した」。

EUのロシアに対する経済制裁は2014年8月1日導入され、同年9月に拡張された。ロシアの武器や民生・軍用の二重用途品および技術の対EU輸出入に関する新規契約が禁じられた。制裁下にはロシア国営銀行とロシアの石油産業も入った。また、ロシアの大手金融機関と欧州の銀行や投資家の協力も大きく限定された。

<http://sptnkne.ws/daSU>

### **アレッポは後数時間でテロリストから解放される—国連シリア常駐代表**

(アップデート 2016年12月20日 00:17)

◎ REUTERS/ Denis Balibouse <https://goo.gl/CjsLcG>

シリアのアレッポ東部は後数時間で完全にテロリストから解放される。国連のバシヤール・アル・ジャアファリシリア常駐代表は19日、記者団に次のように述べた。

「まさに今、アレッポ東部のいくつかの地域にいる最後のテロリストたちが自らの拠点から避難しており、アレッポでは今夜、掃討が完了すると伝えたい。」

先にメディアが、アレッポの城塞が市民向けに再び開放されたと報じた。

<http://sptnkne.ws/daCJ>

### **トルコでロシア大使が襲撃される【写真・動画】**

(アップデート 2016年12月20日 07:56)

◎ REUTERS/ Umit Bektas <https://goo.gl/vrtpxT>

トルコで武装した男が、駐アンカラ・ロシア大使のアンドレイ・カルロフ氏を襲撃した。トルコの「Hurriyet」が報じた。

[twitter.com/ https://goo.gl/6HzB2w](https://twitter.com/https://goo.gl/6HzB2w)

[twitter.com/ https://goo.gl/ntByR2](https://twitter.com/https://goo.gl/ntByR2)

カルロフ大使は重症を負い、病院に搬送された。

先に、武装した男がトルコ首都のアンカラにある、ロシアの写真展覧会が行われている建物に押し入ったとの報道があった。

twitter.com/ <https://goo.gl/9WbqHV>

動画 <https://youtu.be/665UCAw3T-s>

目撃者がスポーツニクに、トルコのロシア大使アンドレイ・カルロフ氏襲撃の様子を次のように語った。

「大使が展覧会のオープニングで演説していたところ、後ろから『アッラー・アクバル（神は偉大なり）』との叫びが聞こえ、銃撃が始まった。銃撃の後、発砲者は展覧会に居合わせた人にサロンから出ることを許したので、おそらく、このテロは大使に向けられたものだったのだろう。警察との銃撃戦は続いている。」

ロシア外務省は、トルコでロシア大使が火器により負傷したと確認した。テレビは、アンカラでロシア大使を襲撃した男が殺害されたと報じた。

twitter.com/ <https://goo.gl/8ahvwX>

<http://sptnkne.ws/daE2>

### ロシア大使襲撃の瞬間【写真・動画】

(アップデート 2016年12月20日 08:08)

写真 <https://goo.gl/ehrmS0>

トルコのロシア大使アンドレイ・カルロフ氏襲撃の瞬間が動画に収められた。動画には、演説中にカルロフ大使が銃撃された様子が見て取れる。

事件は写真展覧会『トルコ人の目で見たロシア』のオープニングで起きた。襲撃者は「出て行け！」と叫んだという。

トルコ駐在ロシア大使に発砲した犯人、アンカラのギャラリーで (11 枚)

写真 <https://goo.gl/uUvGu6>

襲撃者は警察手帳により建物に入ったと見られている。

大使は銃撃により負傷し、病院に搬送された模様。

facebook.com/ <https://goo.gl/FpXyJo>

<http://sptnkne.ws/daKw>

## **銃撃により、駐アンカラ露大使アンドレイ・カルロフ氏死亡 露外務省**

(アップデート 2016年12月20日 07:38)

◦ AP Photo/ Burhan Ozbilici <https://goo.gl/kP6tT9>

武装した男の襲撃の結果、トルコのロシア大使アンドレイ・カルロフ氏が死亡した。ロシア外務省のマリヤ・ザハロワ報道官が発表した。

「今日は、ロシア連邦の歴史上、悲劇的な日だ。今日、ロシア大使アンドレイ・カルロフ氏が公開イベントで負傷し、死亡した」と報道官は記者団に述べた。

ロシア外務省が、ロシア大使が殺害されたトルコの首都アンカラでの事件をテロ行為だと認定すると発表した。

カルロフ・アンドレイ氏は1976年にモスクワ国際関係大を学卒した。1992年、ロシア外務省外交アカデミー卒。韓国語と英語に堪能だった。

1976年に外務省に入省。ソ連・ロシア外務省での本部ならびに在外公館での豊富な勤務経験を有していた。2001年から2007年にかけては駐北朝鮮ロシア大使を務め、2007年から2009年にかけてはロシア外務省領事副局長を務めた。2009年からはロシア外務省領事局長、外務省会のメンバーでもあった。

大使は妻帯しており成人した息子がひとりいる。

<http://sptnkne.ws/daG6>

## **駐トルコ・ロシア大使殺害犯人、犯行現場では警察の身分証明書を提示**

(アップデート 2016年12月20日 07:53)

◦ AP Photo/ Burhan Ozbilici <https://goo.gl/vtt8XF>

トルコのアンカラで現地駐在のロシアのアンドレイ・カルロフ大使を射殺した犯人は大使がいる建物に入館する際に警察の身分証明書を提示していた。ロシアのNTVが目撃者の証言を引用して報じた。

これより前、ロシア大使館は大使が銃撃され、殺害された事実を確認した。

現在、アンカラのロシア大使館では警備が一層強化されている。アンカラ市のメリフ・ギョクチヨク市長は、カルロフ大使の殺害はロシアとトルコの間係を損なう目的で行なわれたものという声明を表した。

カルロフ大使の殺害犯人は地元の名ベルトゥルク紙の報道によれば、7月15日の国家転覆計画の捜査の過程でテロ組織に加わっていたとして警察を解雇されていた。

<http://sptnkne.ws/daKB>

### **ベルリン警察、クリスマス市に突っ込んだトラック運転手の国籍等を未確認**

(アップデート 2016年12月20日 08:08)

© REUTERS/ Fabrizio Bensch <https://goo.gl/r1HCj3>

ドイツ警察当局者は事件現場にてクリスマス市の人々にトラックが突っ込んだトラックを運転手の国籍などが特定できていないと述べた。同氏は「彼の国籍についてはまだ特定していません」と発言。

以前に伝えたように、ドイツの首都ベルリンで19日、トラックがクリスマス市に突っ込み、9人が死亡した。50人のけが人が出ている。

トラックを運転していた人物は逃走を試みたが、逮捕された。同乗者は死亡した。警察当局がツイッターで明らかにした。

トラックが突っ込んだクリスマス市はベルリン中心部の広場にあり、クリスマスツリーの飾りや菓子などを販売する屋台が並び、多くの市民や観光客でにぎわっていた。リアーノーフォスチ通信が報じた。

<http://sptnkne.ws/daSp>

### **独・ベルリン市で人々を跳ねたトラック、ポーランドのナンバー登録**

(アップデート 2016年12月20日 08:13)

© AP Photo/ Michael Sohn <https://goo.gl/UdeYYm>

ポーランド複数マスコミによると、ベルリンでクリスマス市に突っ込んだトラックはプレートナンバーからポーランドに登録された車両であって、盗難された可能性がある。



運送会社の関係者の話によると、運転手と午後3時から連絡が取れない状態になり、事件に巻き込まれた恐れがある。なお、運転手は運送会社の社長の親戚とされる。

<http://sptnkne.ws/daTt>

### **独・ベルリン中心地のトラック跳ね事件の死者12人に**

(アップデート 2016年12月20日 10:55)

◦ AP Photo/ AP <https://goo.gl/FHVD31>

ドイツの首都ベルリン中心部でクリスマスマーケットに大型トラックが突っ込んだ事件で、警察当局は公式ツイッターで20日、死者が12人、負傷者が48人となったことを公開した。リア・ノーヴォスチ通信が報じた。

<http://sptnkne.ws/daTy>

### **独・ベルリン市のクリスマス市を襲撃した運転手、誰？**

(アップデート 2016年12月20日 11:05)

◦ AP Photo/ Michael Sohn <https://goo.gl/aFhj3Q>

ドイツ治安維持当局の情報源によると、ベルリン市のクリスマスマーケットの会場で来客らにトラックで突っ込んできた運転手は難民と推定される、Die Welt紙が伝えた。またドイツ・マスコミの報道によると運転したとされる人物はアフガニスタンないしパキスタンからわたってきたと考えられる。

実際には、WELTによると身柄を確保された運転手は2016年にドイツへ難民として入国したとしている。Berliner Zeitung紙は当局での独自の情報筋に基づいてアフガニスタンからの難民として報道した。リア・ノーヴォスチ通信が報じた。

<http://sptnkne.ws/daT2>

### **露・駐トルコ大使殺害、プーチン大統領はテロとの戦いを強化し応える、と声明**

(アップデート 2016年12月20日 21:20)

◦ AP Photo/ Burhan Ozbilici <https://goo.gl/F5TCfT>

日本時間20日未明、プーチン大統領は声明し、大使殺害は卑劣な挑発行為としてを非難した。

プーチン大統領、殺害の目的は、関係を改善しているロシアとトルコの関係悪化にあると声明し、「その意図には乗らない」と表明した。

リア-ノーヴォスチ通信によると、大統領はエルドアン大統領から状況の説明を受けた上、ロシアから捜査団を派遣する承諾を得た。

<http://sptnkne.ws/daVB>

### **日本の首相 2017年初めに訪露の意向—マスコミ**

(アップデート 2016年12月20日 18:45)

◎ Sputnik/ Sergey Guneev <https://goo.gl/RgBXz3>

日本の安倍首相は、平和条約締結問題を協議するため、2017年初めにロシアを訪問する意向。20日、共同通信が報じた。安倍首相は20日、「協議の開始は、平和条約の締結に向けた重要な一歩を踏み出すものだ。今回、プーチン大統領からロシアに招待を受けた。ぜひ、来年の早い時期にロシアを訪問し、関係改善への機運を一層、加速していきたい」と述べた。NHKが報じた。

<http://sptnkne.ws/daVc>

### **安倍首相 ロシアとの平和条約問題を解決するためには何から始める必要があるのかを語る**

(アップデート 2016年12月20日 16:07)

◎ Sputnik/ Sergey Guneev <https://goo.gl/jK7Juk>

日本の安倍首相は、ロシアとの平和条約締結問題を解決するためには何から始める必要があるかについて語った。

安倍首相は20日、東京都内で講演し、今月行われたロシアのプーチン大統領との会談について、「平和条約（締結）へ重要な一歩を踏み出すことができた」と振り返り、その上で「日ロが共有できる4島の未来像を描くことからスタートしなければならない」と指摘した。20日、共同通信が報じた。

露日首脳会談は、12月15、16両日に安倍首相の故郷である山口県と東京で行われた。会談の結果、2国間の経済協力拡大計画と、南クリル諸島での共同経済活動についての協議を開始することが発表された。

先にロシアのプーチン大統領は、「未だにロシアと日本の間に平和条約がないのは、もちろん、

時代錯誤だ」と述べ、クリルにおける露日の協力が、平和条約締結交渉を継続するための好ましい雰囲気づくりを促進することに期待を表明した。

<http://sptnkne.ws/daWW>

## 「卑劣、挑発行為」 アンカラでロシアのカルロフ大使が殺害される

(アップデート 2016年12月20日 18:45)

© Sputnik/ Iliya Pitalev <https://goo.gl/n3EFtg>

ロシアのカルロフ駐トルコ大使が、展覧会の開会式で殺害された。特別作戦で殲滅された犯人の名は、メヴリュト・メルト・アルトゥンタシュ。警察で2年半働いていた。

カルロフ大使が攻撃されたのは、トルコの首都アンカラで開かれた写真展の開会式の最中だった。

目撃者によると、犯人はネクタイ・スーツ姿で会場に入ったため、大使のボディガードとみなされた。

目撃者の1人がリアーノーヴォスチ通信に語ったところによると、カルロフ大使がスピーチを行っていた時、大使の背後から「アラー・アクバル（神は偉大なり）」という叫び声がし、銃撃が始まった。テレビ局NTVは、犯人は会場にいる人たちに離れるよう求め、床に横たわる大使に近づき、さらに数回撃つたと報じている。

犯人は建物に入る際、警官の身分証明書を提示した。トルコのソイル内相は、犯人が警察で働いていたことを確認した。

トルコのエルドアン大統領の顧問は犯人について、当局が7月のクーデターを企てたとして非難しているフェトフラー・ギュレン運動とつながりがあったと述べた。なおイスラム教指導者ギュレン師は、ロシア大使殺害を非難した。ロイター通信が、ギュレン師の顧問の発言を引用して報じた。

ロシアのプーチン大統領は、大使殺害を「卑劣な殺人」であり、トルコとの良好な関係とシリア情勢の解決を決裂させるための挑発行為だと指摘し、「これへの対抗策はもしかしたらたった一つ。それはテロとの戦いの強化だ。ならず者たちはそれを自分自身で感じるだろう」と述べた。

一連の国々や国際機関がカルロフ大使殺害を激しく非難した。国連安全保障理事会は、露大使殺害をテロと認定し、その「実行者、組織者、資金提供者」を処罰するよう呼びかけた。

<http://sptnkne.ws/daYj>

## ベルリンで起こったクリスマス市での悲劇 その詳細【写真・動画】

(アップデート 2016年12月20日 18:36)

© REUTERS/ Fabrizio Bensch <https://goo.gl/49vosh>

ドイツの首都ベルリン中心部の大勢の人でにぎわうクリスマス市にトラックが突っ込み、12人が死亡、48人が病院に搬送された。アンカラでロシアのカルロフ大使が殺害されるメディアの報道によると、トラックを運転していたのはアフガニスタンあるいはパキスタン出身の難民とみられており、隣には同トラックの運転手として働いていたポーランド人が乗っていた。

目撃情報によると、19日20時ごろ（日本時間4時ごろ）車体が暗い色のトラックが、ツォーロギッシャ・ガルテン駅近くにあるカイザーヴィルヘルム記念教会前で開かれていたクリスマス市に突っ込み、約50メートルにわたって暴走、人々をはね、道路に停車した。運転手はトラックから飛び降り、駅の方角に走り去った。当局は、被害者の中には大勢の観光客がいると伝えているが、彼らの国籍はまだわかっていない。襲撃の動機は不明。ドイツのデメジエール内相は、多くの点がテロだったことを示していると伝えた。

### 写真 ベルリンで起こったクリスマス市での悲劇

© REUTERS/ Pawel Kopczynski 1/18 <https://goo.gl/x3ry0Q>

ベルリン警察のノイエンドルフ報道官は、迅速に作成された似顔絵のおかげで容疑者は拘束されたと発表した。同人物はアフガニスタンあるいはパキスタンからの難民の可能性があり、2月に難民としてドイツに到着したとみられている。なおトラックに乗っていたもう一人の人物は現場で死亡した。

この同乗者はポーランド人。ベルリン警察の情報によると、トラックはポーランドの建設現場で盗まれた可能性がある。トラックの所有者のポーランド人は、トラックの運転手から昼間電話があり、「イスラム教徒が大半を占める地区にいる」と伝えられ、まもなく連絡が取れなくなったと話した。多くの国が、同情と哀悼の意を表明した。フランスでは、クリスマス市での安全対策が強化された。

動画 <https://youtu.be/xmrRzi2gGvU>

<http://sptnkne.ws/dba7>

### 在アンカラ米大使館、露大使殺害後に休館

(アップデート 2016年12月20日 18:45)

© AP Photo/ Burhan Ozbilici <https://goo.gl/a9J4Tr>

ロシア大使殺害を含む2件の発砲事件を背景に、在アンカラ米大使館は20日火曜日、臨時休館す

る。米外務省がツイッターの公式アカウントで発表した。

国務省は19日、在アンカラ米国大使館付近で発砲があったとの報道を確認した上で、負傷者はおらず、犯人は逮捕されたと付け加えた。米外務省の報道担当はリアーノーヴォスチに、男は拳銃を持っており、在アンカラ米国大使館の入り口付近でおきた事件の際に数発発砲したと述べた。トルコ当局は発砲した男を逮捕し、調査を始めた。

そのわずか数時間前に、米大使館のすぐ近くで駐トルコ・ロシア大使アンドレイ・カルロフ氏が殺害された。

<http://sptnkne.ws/dbcd>

### **アンカラの通り、ロシア大使の名に改称へ**

(アップデート 2016年12月20日 19:34)

◎ Sputnik/ Hüseyin Hayatsever <https://goo.gl/1VMJNX>

トルコの首都アンカラで殺害されたロシア大使を偲び、ロシア大使館のある通りが大使の名前、アンドレイ・カルロフに改称される。アンカラ市民は、昨夜殺害された駐トルコ・ロシア大使のアンドレイ・カルロフ氏を偲び、ロシア大使館に献花している。大使館は半旗を掲げている。ロシア外務省は外交官殺害を受け、哀悼の動画を作った。今日、国際社会がテロ行為だと受け止めた悲劇の状況解明のため、機動調査班を乗せた飛行機がアンカラに到着した。この飛行機で、カルロフ氏の遺体はモスクワに運ばれる。

<http://sptnkne.ws/dbcJ>

### **ロシア大統領府 2017年にプーチン大統領と安倍首相の新たな交流に期待**

(アップデート 2016年12月20日 20:22)

◎ Sputnik/ Vladimir Astapkovich <https://goo.gl/v8t>

ロシアは、2017年にロシアのプーチン大統領と日本の安倍首相の新たな交流に期待している。20日、ロシアのペスコフ大統領報道官が発表した。ペスコフ報道官は記者団に、「もちろん、(安倍)首相とロシアのプーチン大統領は、最近の日本での交流で、ハイレベルを含む様々なレベルでの対話を集中的に継続することを取り決めた。そのため我々は来年、プーチン氏と安倍氏の新たな交流に期待している。日程が決まり次第お知らせする」と述べた。

<http://sptnkne.ws/dbds>

## メルケル首相、ベルリンでのトラック突入事件に衝撃

(アップデート 2016年12月20日 20:05)

© AFP 2016/ Odd Andersen <https://goo.gl/EtJmLk>

ドイツのメルケル首相は、12人の命を奪ったベルリンで起きた悲劇に対し深い遺憾の意を示した。「私はショックを受けていて、深い悲しみを感じている」と事件についてメルケル首相は述べた。

メルケル首相はトラック突入をおぞましいとした上で、この後でも「私たちはみんなが一緒に暮らし続けるための力を見つける」と述べた。「恐怖がドイツ人を麻痺させるべきではない」と首相は付け加えた。

メルケル首相は、今あるデータに立脚すると、ベルリンで起きた悲劇は、ドイツ亡命を目指していた人間によってなされたテロだと考えるべきだと確認した。

<http://sptnkne.ws/dbkw>

## ロシア大使殺害犯、以前ロシアの在アンカラ大使館を警備

(アップデート 2016年12月20日 21:29)

© AP Photo/ Burhan Ozbilici <https://goo.gl/e2phBv>

駐トルコ・ロシア大使のアンドレイ・カルロフ氏を19日殺害したトルコの警察官、メヴリュト・メルト・アルトゥンタシュ容疑者は、先週、ロシア大使館近くでシリア・アレッポの情勢を理由に反露集会が行われたとき、大使館を警備していた。トルコのNTVが警察の情報を基に報じた。

同テレビ局は、容疑者が撃った弾11発のうち、8発がカルロフ大使に命中したと報じている。致命傷を受けたカルロフ氏の他に、展覧会を訪れていた3人が負傷した。

<http://sptnkne.ws/dbeR>

## ドイツで何者かが人々に向け発砲

(アップデート 2016年12月20日 21:30)

© AFP 2016/ Daniel Roland <https://goo.gl/xZolYF>

ドイツ・ヘッセン州の州都ヴィースバーデンで起きた発砲事件の結果、1人が死亡し、2人が負傷した。地元警察が発表した。

事件が起きたのはヴィースバーデンのビーブリッヒ地区。発砲した男は逃亡した。警察は男の捜索のために応援部隊とヘリコプターを派遣した。容疑者の動機は今のところ不明。昨日 19 日、ドイツ・ベルリンで何者かがクリスマスマーケットの人ごみにトラックで突っ込み、12 人が死亡、数十人が負傷した。ドイツ政府はこの事件をテロだと呼んだ。

<http://sptnkne.ws/dbfd>

## 2003 年以降、大使または外交代表部の長の殺害事件は 9 件

(アップデート 2016 年 12 月 20 日 21:31)

© Sputnik/ Hüseyin Hayatsever <https://goo.gl/tYTnoj>

アンカラでロシア大使アンドレイ・カルロフ氏が死亡したことに関連して、これまでの外国人外交官の殺人の事例をスプートニクが振り返る。アンカラで 19 日、ロシア大使アンドレイ・カルロフ氏が武器で攻撃された。写真展の開会に際しての凶行。ここで受けた傷がもとで死亡した。ロシア外務省はこれをテロ事件と断定。ロシア捜査委員会は刑事告発した。

2015 年 3 月 27 日にはスイスのソマリア大使がモガディシュのホテルでイスラム過激派に殺害された。

2012 年 9 月 11 日、リビアでベンガジの米国外交代表部が襲撃され、クリストファー・スティーブソン大使と領事館員 3 人が殺害された。イスラム教の預言者ムハンマドを貶めるものとされた米国製作映画「イノセンス・オブ・ムスリム」に関する情報が出た後の事件だった。

2008 年 9 月 20 日、パキスタンのチェコ大使イヴォ・ジジャレク氏がイスラマバードにあるホテル「マリオット」の爆発がもとで死亡した。このテロでは 53 人が死亡、226 人が負傷。

2005 年 7 月 27 日にはアルジェリア大使アリ・ベリアルッシ氏がイゼッディン・ベルカディ氏とともにイラクのバグダッドで誘拐された。

2005 年 7 月 7 日にはイラクでエジプト大使イハブ・アッシュェリフ氏が「処刑」された。

2003 年 12 月 29 日、ブルンジでバチカン大使マイケル・コートニー氏が致死傷を負った。

2003 年 3 月 28 日、サウジアラビア大使モハメッド・アハメド・ラシッド氏がコートジボワールのアビジャンで殺害された。

<http://sptnkne.ws/db6h>

## ベルリンでのテロ実行犯はいまだ捕まらず。警察は誤認逮捕

(アップデート 2016年12月20日 22:53)

© REUTERS/ Pawel Kopczynski <https://goo.gl/kVdZtQ>

ベルリンのクラウス・カント警察長は、逮捕された男が、クリスマスマーケットでのテロ実行犯だとの確信はないと述べた。「捜査はまだ続いている。DNAの跡を調べ、他の捜査活動を行う必要がある。現在の時点では、逮捕された男がテロ実行犯だとの確信は私にはない」とカント警察長はベルリンで記者団に述べた。ベルリン中心部で19日夜、何者かがクリスマスマーケットの人ごみにトラックで突っ込んだ。少なくとも12人が死亡、48人が負傷した。

<http://sptnkne.ws/dbjc>

## プーチン・安倍会談が「スコルコヴォ」基金とパナソニックの協力を促進した

(アップデート 2016年12月20日 21:59)

© AFP 2016/ Toru Yamanaka 1/2 <https://goo.gl/odpBJ8>

プーチン大統領の訪日を機に「スコルコヴォ」基金とパナソニックが来年の実務協力戦略で合意した。主な方向性はハイテク及び輸出志向型産業におけるイノベーション。協力の重点分野は、生物医学、ロボット工学、情報およびデータストレージ、都市工学、農業。パナソニックの専門家はイノベーションセンター「スコルコヴォ」をベースとするモスクワ国際医療センターの設計に参加する予定。また、両者はロシアにおける技術分野での起業を促進する。

「スコルコヴォはこの数年でロシアの技術革新および技術分野での起業の中心地となった。IT、スマートホーム、スマートシティ、農業といった分野で基金および企業との協力を楽しみにしている」とパナソニックロシアの鈴木社長。

先にプーチン大統領が自由貿易圏の創設の可能性について語ったと報じられた。

<http://sptnkne.ws/dbm5>

## デンマーク：現金廃止は犯罪と戦うための手段

(アップデート 2016年12月20日 22:27)

© Fotolia/ Cmfortoworks <https://goo.gl/VKzKLS>

デンマーク国立銀行は2017年から同国通貨デンマーククローネの発行を完全に停止する計画。デンマーク当局は、2017年から段階的に現金を廃止する方針。同プロセスは、2030年に終了する計画。



デンマークのマスコミによると、現在同国のGDP（国内総生産）に占める現金通貨の流通高はわずか2%で、欧州で最も少ない。現金の段階的な廃止は闇経済に壊滅的な打撃を与える。また非現金取引は、犯罪状況にもポジティブな影響を与えており、デンマークでは2013年から強盗件数が38%減少した。

ノルウェーやスウェーデンなどの他の北欧諸国もデンマークの例に続いている。最近5年間でデンマーク経済の現金通貨流通高は25%減少し、現在GDPに占める割合は3～5%未満となっている。

先に日本が日本円で特別融資を提供するかもしれないと報じられた。

<http://sptnkne.ws/db4G>

### **露日は早速 12 月合意の実施に着手した**

(アップデート 2016 年 12 月 20 日 23:29)

◦ Fotolia/ Wiski <https://goo.gl/0w0FHK>

ポーチタ・ロシーイ（ロシア郵便）は火曜、ノボシビルスクのトルマチェヴォ空港で小包分類の日本レーンを設置した。これで国際郵便の処理量が倍増する。

これはロシアの郵便および物流システムの自動化といった分野での協力について東京で12月16日に署名された覚書に基づいての処置。入札に勝利した東芝が同空港および物流・郵便センター「ヴヌーコヴォ」に総額960万ユーロの設備を供与する。この新しいレーンの始動でピーク時にける郵便処理速度が向上するという。

先にプーチン大統領訪日に合わせ露日企業が68の文書の調印を行ったことが報じられた。

<http://sptnkne.ws/db6y>

### **シリア和平プロセス再開呼び掛け**

(アップデート 2016 年 12 月 21 日 00:33)

◦ REUTERS/ Remo Casilli <https://goo.gl/J3N1b0>

ロシアのラヴロフ外相は20日、トルコ、イランの外相との3カ国会談で、シリア和平に向けた政治プロセスの再開を呼び掛ける共同声明をまとめたことを明らかにした。共同通信が報じた。先に伝えられたところによると、米国のジョン・ケリー国務長官は、戦闘員の間での政治的プロセスが停戦を遵守することが重要だとの見解を示し、「すべての当事者が前に進み停戦を遵守するよう彼

らへの圧力を強めるように国際社会に呼びかける」と述べた。

<http://sptnkne.ws/db64>

### **駐トルコ・ロシア大使殺害の新たな動画がネットに登場**

(アップデート 2016年12月21日 02:20)

- AP Photo/ Burhan Ozbilici <https://goo.gl/HfwUKw>

アンカラで駐トルコ・ロシア大使アンドレイ・カルロフ氏が殺害される一分前の映像が新たにネットに登場した。犯人が襲撃を準備している様子が収められている。

[twitter.com/](https://twitter.com/) <https://goo.gl/dm0cvG>

トルコの首都アンカラで12月19日、ロシアのアンドレイ・カルロフ大使が銃撃された。大使は銃撃で負った傷が原因で死亡した。露外務省は今回の事件を、テロ行為だと指摘した。ロシア大統領府は、トルコでのロシア大使殺害について、シリアの平和的解決のための尽力を阻止することを目的としていたと発表した。

<http://sptnkne.ws/dbxd>

### **ダーイシュ（IS）、ベルリンのクリスマスマーケット突入テロで犯行声明**

(アップデート 2016年12月21日 05:46)

- REUTERS/ Fabrizio Bensch <https://goo.gl/50hpgF>

テロ過激派組織ダーイシュ（通称「イスラム国」（IS）は市民12人犠牲となったベルリン・テロの犯行声明した、とロイター通信が伝えた。20日、ダーイシュ（IS）の系列ニュースサイトを通じ、ドイツのトラック突入事件は「イスラム国の戦士」が実行したと主張した。事実上の犯行声明となる。リアノーヴォスチ通信が報じた。

<http://sptnkne.ws/db2W>

### **チューリヒ市、スイス人はイスラム施設発砲**

(アップデート 2016年12月21日 07:08)

- AFP 2016/ Fabrice Coffrini <https://goo.gl/hk10xh>

スイス最大の都市、チューリヒにあるイスラム教の礼拝施設で、男が銃を発砲して3人がけがを

した事件で、警察は24歳のスイス人の容疑者が事件後に自殺したものと見られるとして動機の解明を進める。

スイスのチューリヒにあるイスラム教の礼拝施設で19日、男が侵入して銃を発砲し、その場に居合わせた男性3人がけがをした。

容疑者の男はその場から逃走したが、警察はその後、現場近くの橋の下で男の遺体を発見したと発表した。男は24歳のスイス人で、事件直後に自殺したものと見られる。事件の背景など詳しいことは分かっていないが、施設では当時、北アフリカからの移民などが集まって、地元メディアは目撃者の話として、男が「スイスから出て行け」と叫んでいたと伝えている。

スイスでは一部でイスラム教徒への差別や偏見が強まっていて、警察は男がイスラム教徒に対して反感を抱いていた可能性もあると見て、動機の解明を進めている。共同通信が報じた。

<http://sptnkne.ws/db32>

## **大使殺害事件に関わらずロシアとトルコの関係は発展するートルコ首相**

(アップデート 2016年12月21日 07:33)

◦ REUTERS/ Umit Bektas <https://goo.gl/u3S8vo>

駐トルコ・ロシア大使アンドレイ・カルロフ氏の殺害事件に関わらずロシアとトルコの関係は発展する。トルコのユルドゥルム首相が述べた。月曜、駐トルコ・ロシア大使がアンカラでイベントの際に襲撃され負傷、のち死亡した。ロシア外務省はこれをテロと断定している。

<http://sptnkne.ws/db6F>

## **露・副首相、露・単独での北方領土の経済特区指定先送り**

(アップデート 2016年12月21日 07:59)

◦ Sputnik/ Dmitry Astakhov <https://goo.gl/VE6aTl>

ロシア側がこれまで独自に進めてきた北方領土を経済特区に指定する計画について、ロシア極東の大統領全権代表を務めるトルトネフ副首相は、先週の日ロ首脳会談で開始することで合意した共同経済活動をめぐる交渉の妨げになるとして当面先送りする考えを示した。

ロシア政府はこれまで、北方領土を含む島々を年内にも経済特区に指定し、進出する企業に対して税制上の優遇措置などを与え投資を呼び込む計画を、独自に進めてきた。

この計画について、ロシア極東の大統領全権代表を務めるトルトネフ副首相は20日、地元メディアに対し「ブレーキをかける」と述べ、当面先送りする考えを示した。その理由についてトルトネフ副首相は、「日本とロシアの首脳間の対話に介入するのは間違いだ」と述べ、先週行われた露日首脳会談で開始することで合意した北方領土での共同経済活動をめぐる交渉の妨げになるためだと、説明。共同通信が報じた。

<http://sptnkne.ws/db5x>

## ロシアは日本の投資に劣らず「日本」を必要としている

(アップデート 2016年12月21日 08:36 タチヤナ・フロニ)

◎ 写真: Host photo agency <https://goo.gl/CPwNxx>

プーチン露大統領と日本の安倍首相は2日間に渡った経済取引交渉を終了した。第2次世界大戦の終戦後、二国関係に暗雲を垂れ込めさせてきた領土問題には待望のブレイクスルーはついぞ起こらなかったものの、首脳会談の結果、双方はあわせて68もの大型合意を締結した。

先日の安倍・プーチン首脳会談に関する世論調査に参加した日本人回答者の半分以上がその結果に失望したと答えている。専門家らはこれについて、日本国民はロシア大統領の訪日に過度な期待をかけていたためと説明している。ロシア大統領の訪日は長期に渡って準備され、何度も延期されていたため歴史的な出来事とされた。安倍首相自身はロシア大統領の訪日結果に極めて高い評価を与え、「大統領の訪日は日露関係に新たな、大幅な飛躍をもたらした」と語った。安倍首相は最も大きな達成として、4島での共同経済活動についての合意達成に漕ぎつけたことを挙げている。

だが果たして安倍氏はこの外交上の成功を堅持し強化できるのだろうか？ 国内で選挙民の抱いていた過度の期待にまして、日露関係の改善に真っ向から反対する者らとの対決を強いられることはないのだろうか？ スプートニクはこれに関して日本の専門家、アナトーリー・コーシキン氏に見解をたずねた。

**コーシキン氏：**「プーチン大統領の訪日は組織したのは実際は日本外務省というよりも安倍氏に非常に近側にいる経済産業省内の人間だ。それは日本外務省が圧倒的多数が親米派の外交官で占められているからだ。こうした人間らは日露の協力拡大プロセスを何とかしててこずらせようとしてきたし、これから先もそうするだろう。この他日本には非常に強力な右翼団体が存在しており、これがことある毎に日露関係の正常化への道に横槍を入れてくる。それでもこうした圧力や世論に依拠する必要はない。我々はまず日本の実業界の具体的でプラグマティックな関心に立脚すべきだ。日本のビジネスはロシアとの協力が有益なのであれば、条件、プロジェクトを問わずそれに向かう。その好例が70年代のあの冷戦のさなかにソ連はかなり活発に日本との協力を行っていた事実だ。当時日本はソ連と協力をを行う資本主義国の中ではドイツを1位、2位を争っていたのだ。」

コーシキン氏は、多くの専門家の日本は興味はロシアのエネルギー資源に尽きるという見方とは

見解を異にしている。

**コーシキン氏**：「日本経済は今、非常に容易ではない時期にある。確かに破綻というわけではないが、それでも四半世紀もの間、経済は停滞状態にある。かつての経済ブームの時のような成長率など話にはあがらない。このため日本は資本をどこで動かすか、ずいぶん前から相当気をもんでいる。東アジアを見れば日本の援助や投資に今までのような鋭敏な関心を寄せる国は減る一方ではないか。このため地図を見わたせば、日本の実業界と資本にとって今、特に将来性がある唯一有益な場所といえば、遅れているとはいえ広大なロシア極東、シベリア地域だということを日本の実業界はよくよく理解しているのだ。しかも投資魅力の高いこの広大なロシアの地域は中国、ベトナム、韓国の手にあつという間に渡ってしまいかねない。だが一番日本が恐れているのは、日本が優柔不断な態度でいるがゆえにロシアをさらに中国の側へと追いやることだ。これこそ日本にとっては一番頭の痛い危険な話で、特に軍事分野での露中の協力が進むと困る。」

この他にも日本をロシアとの妥協と協力へと急がせる要因はトランプ氏が対日関係、ひいてはアジア全体との関係をどうするのか、その路線が最後まではっきりしていないことだとコーシキン氏は指摘している。

**コーシキン氏**：「トランプ氏は米国自身が抱える問題の解決に集中するよう呼びかけており、これはもちろんの事日本には課題を課している。トランプ氏はこの際にはっきりと日本は自国の安全保障にもっと力を金をかけるべきだと発言しており、力が足りないなら日本も原爆を作って自国を守るべきだとまで言い放った。だが日本はこれを全部考慮するわけにはいかない。日本に必要なのは堅実なパワーバランスなのだ。これもまた、日本がなんとしても対露関係を改善せざるを得ない、または少なくとも関係を悪化させるわけにはいかない一因となっている。」

おそらくはこうした理由から、アナリストらの中からはすでに安倍氏の真の狙いは4島返還よりもずっと野心的で、日本の完全な主権を奪還であるという指摘が挙げられている。日本は1945年後、米国と戦略的同盟関係を結んだものの、実際は米国の地政学上の植民地の地位にある。これを安倍氏は日本が独立した国家となるよう導こうとしているのだ。そのために安倍氏に必要なのは憲法改正だけではない。対露関係を正常化し、うまく拡大していかねばならない。それが叶えば日本も米国－中国－ロシアというトライアングルの中でしっかり胸を張って独立した国としていられるのだらう。

<http://sptnkne.ws/db56>

## **国連、ドゥテルテ氏の犯罪を調査するよう要求**

(アップデート 2016年12月21日 10:37)

© AP Photo/ Bullit Marquez <https://goo.gl/8ZH9df>

ザイド・ラド・アル・フセイン国連人権高等弁務官は、フィリピンのドゥテルテ大統領が過去に

犯したという殺人事件について捜査をするようフィリピン当局に呼びかけた。「誰かが『自分は殺人犯である』と公言したならそれを調査し捜査するのが司法制度とうものだ」と同氏。この声明は国連人権高等弁務官事務所サイトに公表されている。

<http://sptnkne.ws/db7d>

### **プーチン大統領、ロシア治安機械に国内・外で警戒強化を促す**

(アップデート 2016年12月21日 11:36)

◎ Sputnik/ Alexei Druzhinin <https://goo.gl/nnljMQ>

ロシアのプーチン大統領はトルコの首都アンカラで19日に駐トルコ・ロシア大使が射殺された事件を受け、治安機関高官らの会合で「国内外で警戒を強化せよ」と追加対策を打ち出すよう、指示を出した。

ベルリンのクリスマスマーケットにトラックが突入した19日の事件にも触れ、テロ対策に万全を期すよう命じた。リア・ノーヴォスチ通信が報じた。

<http://sptnkne.ws/db7f>

### **ケリー米 국무長官、駐トルコ大使殺害で捜査協力の申し出**

(アップデート 2016年12月21日 12:11)

◎ Sputnik/ Ministry of Foreign Affairs of the Russian Federation <https://goo.gl/aHXaUo>

20日、ケリー米 국무長官は自らロシアのラヴロフ外相に電話をした。ケリー氏はトルコのアンカラで射殺されたロシアの駐トルコ大使に弔意を表し、必要ならば捜査に協力すると申し出た。またシリアの停戦履行状況や人道支援についても協議した。以前にロシア外務省は駐トルコ大使の射殺が卑劣なテロ行為という見方を公明した。リア・ノーヴォスチ通信が報じた。

<http://sptnkne.ws/db7j>

### **フランスの政治学者がプーチン大統領をノーベル平和賞に推薦**

(アップデート 2016年12月21日 12:18)

◎ Sputnik/ Mikhail Voskresenskiy <https://goo.gl/Tfhi1Y>

フランスの政治学者ファビアン・ボッサル氏がプーチン大統領をノーベル平和賞に推薦した。「C

F P Aを代表してプーチン大統領はその和平努力の報酬としてノーベル平和賞を獲得することができる、という内容の手紙をノーベル委員会に送った」。リア-ノーヴォスチが伝えた。「プーチン大統領はそれに値すると思う。彼は真にテロリズムと戦っている唯一の人だ」と同氏。

<http://sptnkne.ws/db7k>

### **露・沿海州副知事が逮捕された**

(アップデート 2016年12月21日 12:51)

© Fotolia/ Zerbor <https://goo.gl/U443KV>

本日に開かれている裁判でセルゲイ・シドレンコ沿海州副知事は、最終的な処罰を決定されるまで身柄拘束されることになった。ウラジオストク市フルンゼ地方裁判所の関係はリア・ノーボスチ通信に明かした。

昨日の報道の通り、警察当局はセルゲイ・シドレンコ副知事を巡って捜査を開始した。現地のマスコミの報道によれば、同氏の兄弟である実業家のウラジミール・シドレンコ氏も家宅捜索などを受けた。副知事は漁業、農業、動物医学、許認可などの公務を担当する立場だ。

<http://sptnkne.ws/db7r>

### **マスコミがリーク、ロシア、トルコとのビザなし交渉を一時凍結へ**

(アップデート 2016年12月21日 15:29)

© Fotolia/ Mixa75 <https://goo.gl/eFtZJ7>

ロシアはアンカラ駐在のロシアのアンドレイ・カルロフ大使殺害事件後、トルコとの間に行なわれていたビザなし渡航についての交渉を一時凍結する方向で動き始めた。ロシアの新聞「イズヴェスチヤ」がロシア外務省内の消息筋からの情報として報じた。カルロフ大使は写真展のオープニングで襲撃され殺害。犯人のトルコ人、メヴリュト・メルト・アルトウインタシュは特殊作戦で殲滅された。イズヴェスチヤ紙は、故カルロフ大使は数ヵ月前、トルコ人向けのロシアへのビザ発給制度について、トルコ国内での安全措置が万全には採られていないことを理由に、その廃止を急がぬよう呼びかけていたと報じている。同紙の報道によれば、ビザなし体制導入についての交渉は、無期限で延期された。ロシア政府も同様に現在トルコに滞在中のロシア国民の安全確保のために「あらゆる尽力」を傾けている。

<http://sptnkne.ws/dbBB>

## 米国 対露制裁を拡大

(アップデート 2016年12月21日 18:57)

© Flickr/ Diego Cambiaso <https://goo.gl/S1E2F7>

米国は、ウクライナでの出来事、およびクリミアのロシア再編入を受けた対露制裁を拡大した。米財務省のホームページで発表された。米国の対露制裁リストには、新たに7個人と数十の団体が追加された。さらにロシア船籍のタンカー「ジューコフ元帥」号と「スターリングラード」号も加えられた。また、すでに米国の制限措置の対象となっているノヴァテク（ロシア最大の独立系天然ガス生産会社）の26の子会社すべてもリストに加わった。

<http://sptnkne.ws/dbEG>

## 米國務省 なぜ「ヌスラ戦線」から反政府勢力を引き離さなかったのかを説明する

(アップデート 2016年12月21日 18:16)

© AP Photo/ Manuel Balce Ceneta <https://goo.gl/HolHfg>

ロシアのラヴロフ外相は、トルコとイランの外相との3カ国協議を総括し、米国は9月に合意された行動への自国の参加を証明することができなかったと述べた。20日、米國務省のカービー報道官は、國務省が「ヌスラ戦線」から反政府勢力を引き離すことができなかった理由を記者団に説明した。報道官は、「ロシアのラヴロフ外相が提起し続けている具体的な問題の件だが、これは『ヌスラ戦線』から穏健派反政府勢力を引き離すことだ。我々はこれについてうんざりするほど話した。

『ヌスラ戦線』がいた地域から去るよう反政府勢力に説得するために我々が全力を尽くさなかったということではない。だが我々は一人一人を把握することはできない。複数のメンバーは、哲学的、あるいは、ただ物理的に『ヌスラ戦線』の仲間に入った、または『ヌスラ戦線』がいる地域からは去らないなど、様々な理由で決めた。これは我々が適切な形で取り組まなかったことを意味しているわけではない」と述べた。

<http://sptnkne.ws/dbEc>

## オバマ大統領、北極、太平洋での原油掘削を禁止

(アップデート 2016年12月21日 18:47)

© REUTERS/ Jonathan Ernst <https://goo.gl/R1t55e>

オバマ米大統領は北極および大西洋の広範な範囲で石油ガスの採掘を禁止した。この発表はホワイトハウスのサイトに掲載されており、それによれば禁止措置はカナダを合同で採られたもの。



ホワイトハウスの声明によれば、米国は太平洋、大西洋の大部分を採掘禁止ゾーンと定めた。カナダもまた北極圏の自国水域での石油ガス採掘を禁止する。

発表にはオバマ大統領の書面での声明として「これらの行為およびカナダが平行して採る行為は壊れやすく、地球上のどこにも類似したものがない稀有な生態系を守るものである。この行為は科学者らの評価を反映したものであり、我々の国々の導入してきた高い安全水準を持ってしても同水域における石油漏れのリスクは著しく高く、漏れた石油を同水域の厳しい条件下で除去する可能性も限界がある」と明記されている。オバマ大統領は環境に害のない代替エネルギーへの移行の必要性を語っている。

声明にはこの決定は5年毎に見直されると明記されている。

<http://sptnkne.ws/dbGX>

### **トランプ氏はロシアを恐れてはいない**

(アップデート 2016年12月21日 19:25)

◎ 写真: Ministry of defence of the Russian Federation <https://goo.gl/GsD8N7>

トランプ次期米大統領の新政権は、米国の国家安全保障の主な脅威リストにロシアを加えなかった。マスコミによると、新政権の国防優先事項に含まれているのは、テロ組織「ダーイシュ（IS、イスラム国、ロシアで活動が禁止されている）との戦い、新たなサイバーセキュリティ戦略の策定、財政赤字の削減。また文書では、中国と北朝鮮に関する米国防総省の代表者が出席するブリーフィングについて言及されている。

先に、2017年に予測される主なサイバー脅威について報じられた。

<http://sptnkne.ws/dbJM>

### **「可能性の窓」は開いている！ 露日関係専門家、首脳会談の意義を徹底討議**

(アップデート 2016年12月21日 20:31 徳山あすか)

◎ Fotolia/ Rawpixel.com <https://goo.gl/rcRjnx>

19日、国際情報通信社ロシア・セヴォードニャのプレスセンターにて、現代における露日関係をテーマにラウンドテーブルが開かれた。本イベントにはロシアの名だたる日本学者が参加し、15日・16日の日露首脳会談について総括を行った。日本からは、法政大学の下斗米伸夫教授とNHKの石川一洋解説委員が同時中継で出演した。

元駐日大使のアレクサンドル・パノフ氏は、「プーチン大統領の訪日は成功だった。現在、両国が達成できる最大限のラインまで合意できた」と評価し、「大局的かつ戦略的な見地からすれば、ロシア・日本双方ともそれなりに満足できる結果が得られた。日本は実質、対露経済制裁レジームから外れ、大小の経済プロジェクトに合意し、巨額をロシアに投資することを決めた。これからロシアは、これらのプロジェクトを積極的に実現することによって、強固にしていかなければならない。これは永遠に開いているとは言えない『可能性の窓』である」と述べた。またパノフ氏は、日本がついに四島での経済活動および人道的見地からの人的交流に同意したことを肯定的に評価。これは平和条約締結交渉に向けた二国間の信頼醸成に役立つという見方を示した。

ロシアの有力シンクタンク「RIAC」（ロシア国際問題評議会）のアンドレイ・コルトノフ会長は、安倍首相が、自身の支持率が下がるかもしれないと覚悟しながらも、プーチン大統領との対話に積極的に乗り出したと分析。首脳会談後は、首脳同士で合意したと思われた話が実務レベルでうまくいかず、実現できないまま終わることがよくあると指摘し、今回はそれが起こらないように願う、と付け加えた。

ロシア科学アカデミー極東研究所・日本研究センター長のワレリー・キスタノフ氏は、経済協力の合意に達したことは大きな意味があると高く評価した。安倍首相の今回の課題は、日中関係が緊張している中、ロシアが中国にばかり傾倒していくのを防止することだったと指摘。経済面而言えば、その目的は達成されたと評価した。ロシアは今、政治的にも経済的にも中国への接近をかつてない程に強めているが、キスタノフ氏は、本音を言えば「ロシアは中国に完全に傾倒したくはない」と話す。

モスクワ国際関係大学で東洋学を専門とするドミトリー・ストレリツォフ教授も、自らを楽観主義者の一人と位置付けた上で、「露日関係の好転は地域の安定をもたらす。平和条約締結については、ロシアが従属的な立場をとるのではなく、露日が共通してこの目標に向かうと示したことが大事だ。クリルでの共同経済活動については、元島民だけでなく北海道の住民をサハリン州へビザなしで受け入れることにも言及された。国境周辺の往来はデリケートな問題で、信頼をもとにしなければできない。人的交流が盛んになれば相互の不信感は拭われていく」と話した。またストレリツォフ教授は、北東アジアの情勢を鑑みれば、2+2で露日が安全保障について協議するのは両国の国益に適うと述べた。

モスクワ国際関係大学・国際ジャーナリズムが専門のセルゲイ・チュグロフ教授は、安倍首相が「信頼」というキーワードを多用したことに言及。「日本は信頼を基盤にして成り立っている国」として、人的交流拡大の重要性を強調した。

下斗米教授は、ロシア経済紙の記者の質問に答えた中で、日本の中小企業はロシアビジネスに関する情報が少なく、今のところ極東で活動しているのはJGC（日揮株式会社）のような大企業であるが、今後は北海道とサハリンを始めとする地方自治体間の交流などが広がっていくだろうと述べた。また下斗米教授は、日露間では盛んに文化交流が行われてはいるものの、学術界やメディア関係者の間でロシアの専門家が減っていると指摘し、人的交流の不足が根本的な問題であるとの認識を示した。

ロシアの日本への愛は、いつも一方通行だといわれている。ロシア人がおおむね日本に好感を抱いているのに比べ、日本人のロシアに対するイメージは悪く、ロシアに好感をもつ日本人は2割程度である。この状況について問われた石川氏は、「経済協力や投資の拡大とは何を意味するのか。それはロシアに多数の日本人が滞在するようになるということだ」と述べ、人間同士のコンタクトが状況を改善させるとの見方を示した。また、今のところ日露間の留学生数は双方向とも少数にとどまっているが、冷戦時代の記憶がない、ソ連を知らない若者たちが過去のコンプレックスなく積極的に交流することは重要な意義があると強調した。

<http://sptnkne.ws/dbJX>

### 独「ビルト」紙、クリスマス市テロ容疑者の写真を掲載

(アップデート 2016年12月21日 21:16)

© REUTERS/ Fabrizio Bensch <https://goo.gl/1FRFYm>

独タブロイド紙「ビルト」がベルリンのクリスマスマーケットのテロ容疑者の写真を掲載した。ビルト紙の報道では容疑者はチュニジア出身のアニス・Aと名乗る男で複数のパスポートを携帯している恐れがある。年齢は推定で21～23歳。

警察の捜査では容疑者の行動範囲はすでにつき止められている。ビルト紙はアニス・Aは前にも傷害事件を起こしていたものの、逮捕に至らぬままだったと報じている。現時点では警察側からこの情報を公式的に認める声明は出されていない。

19日月曜、ベルリン中心部のクリスマスマーケットにトラックが突入。この事件で12人が死亡、48人が負傷し病院に搬送された。独政権は事件をテロと断定。ロイター通信の報道では「ダーイシュ（IS、イスラム国）」はこのテロの犯行声明を明らかにした。

[twitter.com/](https://twitter.com/) <https://goo.gl/YwF6iZ>

<http://sptnkne.ws/dcd8>

### ロシア大使殺害テロ、「ヌスラ戦線」が犯行声明

(アップデート 2016年12月21日 21:39)

© AP Photo/ Burhan Ozbilici <https://goo.gl/aY01Rz>

トルコ駐在のロシア大使、アンドレイ・カルロフ氏の殺害事件でテロ組織「ファタハ・アルシャム（改名前はヌスラ戦線）」が事件の犯行声明を表した。

犯行声明にはカルロフ大使を殺害した元警官のメヴリュト・メルト・アルトゥンタシュはファタハ・アルシャムの一員だったことが明記されている。

<http://sptnkne.ws/dbPd>

## 欧州、クリスマスマーケットを閉鎖か？

(アップデート 2016年12月21日 22:09)

© AP Photo/ Martin Meissner <https://goo.gl/fEbK0n>

ドイツの警察組合委員長イェルク・ラデク氏がスポーツニクのインタビューで、治安措置強化の必要性を訴えた。

ドイツでは2,100以上のクリスマスマーケットが実施される。ベルリンだけでも100以上。クリスマスマーケットはテロリストにとって最も狙いやすい標的である、とラデク氏。しかしドイツの警察には現時点ですべてのクリスマスマーケットの完全な安全を保障する手立てがない。

「今、クリスマスマーケットの入り口で、空港で行われているのと同様のコントロールを導入することが検討されている」とのこと。しかし過度の治安措置は人々を心理的に緊張させてしまう。クリスマスマーケットを仮に閉鎖するとなると、「それは犯罪者への降伏を意味する。それは絶対にやってはならない」とラデク氏。

<http://sptnkne.ws/dbQ2>

## 安倍首、相真珠湾の訪問が「歴史の克服」

(アップデート 2016年12月22日 08:45)

© AFP 2016/ Tim Kelly <https://goo.gl/OVW1Ie>

共同通信によると安倍晋三首相は米ハワイ・真珠湾を26、27両日に訪問する。オバマ大統領と、旧日本軍の攻撃で沈没した米戦艦の上に立つ「アリゾナ記念館」を訪れ犠牲者を慰霊。来年1月に退任するオバマ氏と最後の会談も行い、同盟強化を確認する。かつて戦火を交えた両国が和解した姿を発信し、日米が「アジア太平洋地域の平和と安定を主導していく」（日本政府関係者）意向を打ち出す。

現職首相の真珠湾訪問としては、1951年の吉田茂首相の例がある。外務省によると当時、記念館は建設されていなかったため、記念館訪問は初めてになる。トランプ次期政権発足を見据え、日米の強固な絆の継承を促す狙いもある。

首相は、オバマ氏とアリゾナ記念館を訪れ、所感を述べる予定で、不戦の決意を表明するとみられる。2015年4月の米議会演説や同年8月の戦後70年談話で触れた「深い悔悟」といった表現を踏襲し、今回のスピーチでも謝罪の文言は盛り込まない見通しだ。

オバマ氏は今年5月、米大統領として初めて被爆地・広島を訪れ、平和記念公園の原爆慰霊碑へ献花した。先の大戦で日米開戦の舞台となった真珠湾での慰霊は、オバマ氏の広島訪問に対する答礼の意味もにじむ。

首相はハワイ滞在中、太平洋戦争などの戦没者が眠る国立太平洋記念墓地を訪れるほか、日系人との面会を調整。

<http://sptnkne.ws/dcdE>